

こども計画(子ども・子育て支援事業計画)策定に係る
市民アンケート調査結果【要約版】

1 調査の概要

(1)調査目的

令和6年度に策定する「こども計画」(従前の子ども・子育て支援事業計画)の基礎資料とすることを目的として実施。

(2)調査時期

令和5年 11 月から同年 12 月

(3)調査の概要

次の表内の3つの区分により調査を実施した。

()内は前回調査時

No.	調査対象者	調査方法	配布数	有効回収票数 有効回収率
1	保護者 (就学前児の親)	対象者を無作為抽出。調査票の配付及び回収は郵送方式。	660 件 (1,031 件)	307 件(526 件) 46.5%(51.0%)
2	保護者 (小学生の親)	対象者を無作為抽出。調査票の配布及び回収は郵送方式。	1,540 件 (1,846 件)	697 件(947 件) 45.3%(51.3%)
3	子ども (13 歳~18 歳)	対象者を無作為抽出。調査票の配付は郵送で行い、回収は郵送または Web アンケート方式。	800 件	279 件※ 34.9%

※当該件数のうち、Web での回答 109 件、13.6%

2 主な調査結果 ※以下の記述中、「就学前児」はその保護者を指し、「小学生」もその保護者を指している。

【保護者アンケート】

①子育ての主体の変化(別冊 P2~P3)

就学前児の子育ての主体は、「父母ともに」が 61.9%と、前回調査から 9.2 ポイント増加し、「主に母親」が 34.9%と同様に 6.5 ポイント減少した。小学生についても「父母ともに」が 63.8%と前回調査から 8.4 ポイント増加し、「主に母親」は 31.4%と同様に 7.0 ポイント減少した。

②家庭と学校の役割(別冊 P5)

子育てに影響すると思う環境は、「家族」が最も多く(就学前児 98.7%、小学生 97.4%)、次いで「学校」が 96.4%(小学生)とほぼ横に並んだ。

③子育てサポートの不在(別冊 P5~P6)

子どもをみてもらえる親族等の状況は、「日常的」「緊急時」にみてもらえる割合が 50%前後であった一方で、「いずれもない」が就学前児 7.2% 小学生 9.8%であった。また、相談相手の有無についてたずねたところ、「いない」との回答が就学前児 2.3%、小学生 9.5%であった。

④休日保育のニーズ(別冊 P10)

休日の保育サービスの利用度は、前回調査から減少傾向にあるものの、土曜が「ほぼ毎週」「月に1~2回は」合わせて 36.6%、日曜祝日は同 21.6%であった。

⑤子育て支援センターの利用増(別冊 P11)

センターの利用状況は、前回調査の就学前児全体「利用している」が 25.3%だった

ものが、今回・同 40.6%と 15.3 ポイント増加している。

⑥放課後児童クラブの利用希望増(別冊 P13)

クラブの利用希望は、小学校低学年時が前回調査の 54.3%から今回 63.7%と 9.4 ポイント増加し、小学校高学年時は前回の 32.0%から今回 42.2%と 10.2 ポイント増加している。

⑦子育て支援サービスの利用の変化(別冊 P18~P21)

読み聞かせなどの支援サービスの利用状況は、就学前児・小学生で前回調査からおおむね減少傾向にある一方で、児童センターめぐらんの利用度が突出している。なお、子育てガイドブックの利用が増えたほか、病児病後児保育やファミリーサポートセンターなどは今後の期待値がやや高い傾向にある。

⑧少子化について(別冊 P22)

少子化に関する意見を保護者に聞いたところ、就学前児・小学生ともに「将来子どもたちの責任が大きくなる」が 64.3%・55.6%と最も多く、次いで就学前児「多様な人間関係の構築ができないことが心配」34.7%、小学生「社会性の低下が心配」45.3%と続いた。

⑨暮らしの経済的状況(別冊 P22)

現在の暮らしの状況は、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせると、就学前児 44.7%、小学生で 46.0%とともに4割を超えた。

【子どもアンケート】

⑩不安や悩み(別冊 P24)

子ども(中学生・高校生の世代、以下同じ)に不安や悩みをたずねたところ、「成績・受験・勉強」が 55.5%と最も多く、次いで「将来・進路」49.3%と続いた。

⑪学校・仕事について(別冊 P25)

学校や仕事は楽しいか聞いたところ、「とても楽しい」と「楽しい」を合わせて 82.9%に達する一方、「あまり楽しくない」が 13.8%となった。

⑫地域活動等への参加度(別冊 P26)

地域活動やボランティア活動への参加をたずねたところ、「最近一年間で参加」「以前参加した」を合わせて 59.5%となったものの、「参加したことがない」が 40.4%あった。

⑬夢・目標(別冊 P28)

夢や目標をもっているか聞いたところ、「持っている」「どちらかというを持っている」を合わせると 66.7%となる一方、「どちらかというを持っていない」「持っていない」「わからない」が 33.3%となった。

【保護者アンケート】

⑭子育ての満足度(別冊 P29)

保護者の子育ての環境と支援の満足度は、就学前児で「満足」「やや満足」を合わせて 24.6%と、前回調査の 28.2%から 3.6 ポイント減少した。また、小学生は「満足」「やや満足」を合わせて 20.9%と、前回調査の 21.5%から 0.6 ポイント減少した。

なお、満足度の減少の要因は、令和2年2月からコロナ禍が始まり、令和5年5月のコロナ5類移行までの3年余りの間、様々な行動制限をはじめ、保育等のサービスや学校にも利用制限があったことが大きいものと思われる。

3 自由意見まとめ

(1) 就学前児保護者の内訳

分野	件数
⑤ 子育てについて(子育て支援センター、経済的な支援など)	50
① 保育サービスについて(保育園の運営、未満児の保育料無償化など)	42
④ 遊び場について(広い公園の設置など)	20
⑦ MEGO3 カードについて(対象者の要件緩和、協賛店の増加など)	16
⑨ その他(サービスの発信方法、商業施設の誘致など)	15
② 医療について(医療機関の充実、産後ケア施設の新設など)	9
③ 医療費助成について(子ども医療費助成の拡充)	9
⑧ 学校運営について(統廃合など)	8
⑥ 放課後児童クラブについて(クラブの運営、利用料無償化)	4
計	173

(2) 小学生保護者の内訳

分野	件数
⑩ 子育てについて(経済的な支援、制度の充実など)	84
④ 施設(遊び場等)について(プール・遊び場等の設置、遊具の充実など)	62
⑫ その他(若者に魅力あるまちづくりなど)	40
⑨ MEGO3 カードについて(対象者の要件緩和、サービス内容など)	34
⑥ 放課後児童クラブについて(クラブの運営、申請方法など)	32
③ 医療費助成について(子ども医療助成の拡充など)	29
⑪ 学校運営について(統廃合、給食費無償化など)	27
⑦ 児童手当について(制度内容(要件、支給額など))	15
⑤ 病児保育について(病児病後児の運営、利用料など)	11
⑧ アンケートについて(量、回答方法)	9
② 医療について(医療機関の充実)	8
① 保育園・認定こどもについて(保育園の運営、未満児保育料無償化など)	3
計	354

(3) 子ども(学生・社会人)の内訳

分野	件数
① 施設(遊び場など)について(商業施設、娯楽施設などの充実)	26
③ 設備・インフラについて(学校や道路等の整備など)	21
⑤ その他(十日町市の魅力の発信、子ども若者にとって魅力ある市など)	15
④ 学校のことについて(学校の選択、校則の見直し)	8
② イベントの開催について(開催回数を増加)	2
計	72

資料3-1 <別 冊>

十日町市子ども・子育て支援事業計画策定に係る アンケート調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

令和6年度策定予定の「子ども・子育て支援事業計画」の基礎資料とすることを目的に実施しました。

(2) 調査時期

令和5年11月24日～令和5年12月8日

(3) 調査の概要

調査対象者	調査方法	配布数	有効回収票数・ 有効回収率
0歳から6歳までの就学前 の子どもを持つ保護者	対象者を無作為抽出。調査票の配布及び回収 は郵送方式	660件	307件 46.5%
小学校1年生から6年生ま での子どもを持つ保護者	対象者を無作為抽出。調査票の配布及び回収 は郵送方式	1,540 件	697件 45.3%
13歳から18歳の学生等	対象者を無作為抽出。調査票の配付は郵送で 行い、回収は郵送またはWebアンケート方式	800件	279件 34.9%

2 調査結果（概要）

(1) 回答者の基本属性

①就学前児童保護者について

- ・住まいの小学校区は、「十日町（22.8%）」、「川治・山本・六箇（10.4%）」、「水沢（9.8%）」が比較的高くなっています。
- ・お子さんの満年齢は、「0歳」が13.7%、「1歳」が12.4%、「2歳」が14.0%、「3歳」が15.0%、「4歳」が15.3%、「5歳」が16.6%、「6歳」が11.7%となっています。
- ・きょうだい数は、「1人」が40.7%、「2人」が30.0%となっています。
- ・配偶者の有無は、92.8%が「いる」となっています。

①子育ての主体の変化(就学前児の保護者)

- ・子育ての主な実施者は、「父母ともに」が61.9%、「主に母親」が34.9%となっています。前回調査と比較し「父母ともに」は9.2ポイント増加し、「主に母親」は6.5ポイント減少しています。



【前回（平成31年）調査の結果】

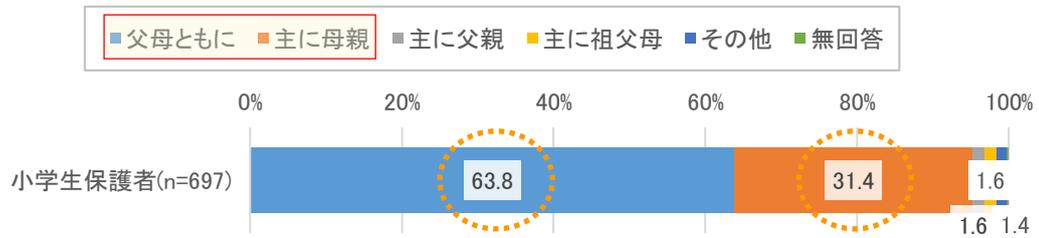


②小学生保護者について

- ・住まいの小学校区は、「十日町（17.2%）」、「川治・山本・六箇（12.3%）」、「川西（10.6%）」が比較的高くなっています。
- ・お子さんの学年は、「1年生」が9.9%、「2年生」が14.1%、「3年生」が14.9%、「4年生」が15.1%、「5年生」が21.1%、「6年生」が22.7%となっています。
- ・きょうだい数は、「2人」が40.9%と最も多く、4割強を占めています。
- ・配偶者の有無は、91.8%が「いる」となっています。

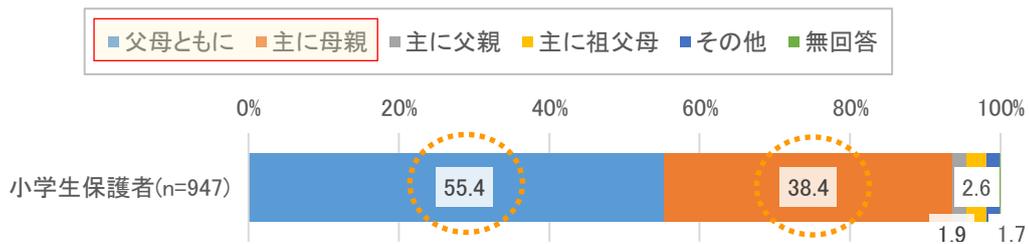
①子育ての主体の変化(小学生の保護者)

- ・子育ての主な実施者は、「父母ともに」が63.8%、「主に母親」が31.4%。となっています。前回調査と比較し、「父母ともに」が8.4ポイント増加し、「主に母親」が7.0ポイント減少しています。



※「無回答」を除くため100%に合わない。

【前回(平成31年)調査の結果】



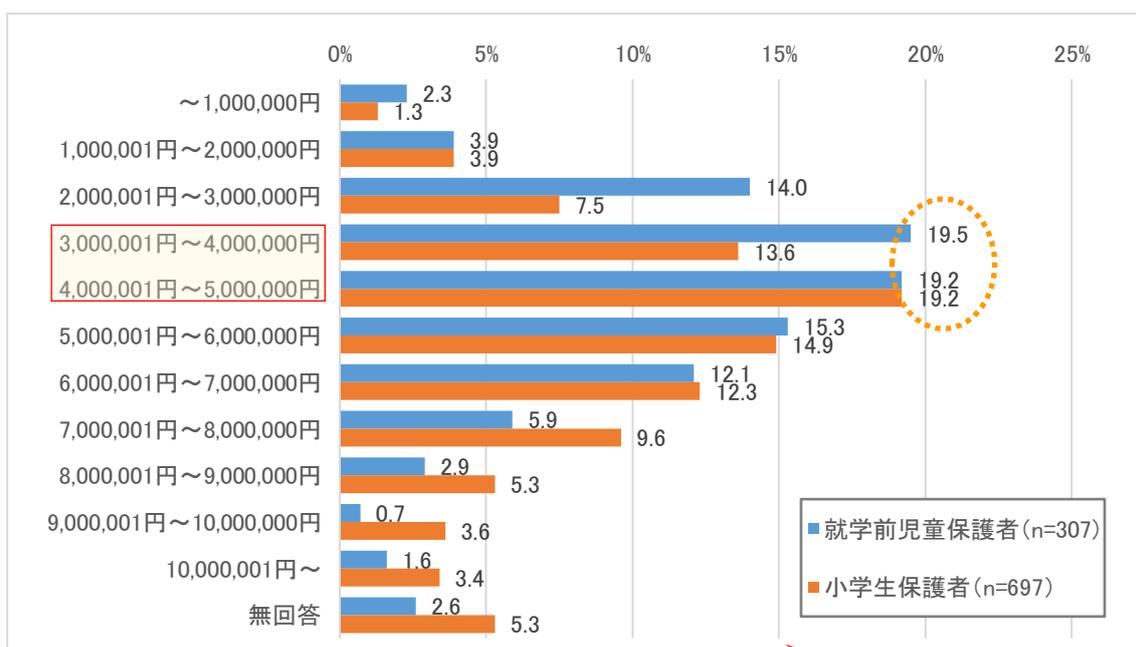
③学生・社会人について

- ・性別は男性(50.5%)、女性(47.7%)でほぼ半々となっています。
- ・就学・就業の状況については、「高校(58.1%)」が6割弱、「中学(38.4%)」が4割弱となっています。
- ・住まいの小中学校区は、「十日町(21.9%)」、「川西(11.5%)」が比較的高くなっています。

④世帯の所得について（保護者のみ）

就学前児童保護者については、300 万円超から 400 万円以下の所得区分（19.5%、と 400 万円超から 500 万円以下の所得区分（19.2%）が特に高く、ともに2割弱を占めています。

小学生保護者については、400 万円超から 500 万円以下の所得区分（19.2%）が最も高く、次いで 500 万円超から 600 万円以下の所得区分（14.9%）となっています。



就学前の 400 万円以下 39.7%
小学生の 400 万円以下 26.3%

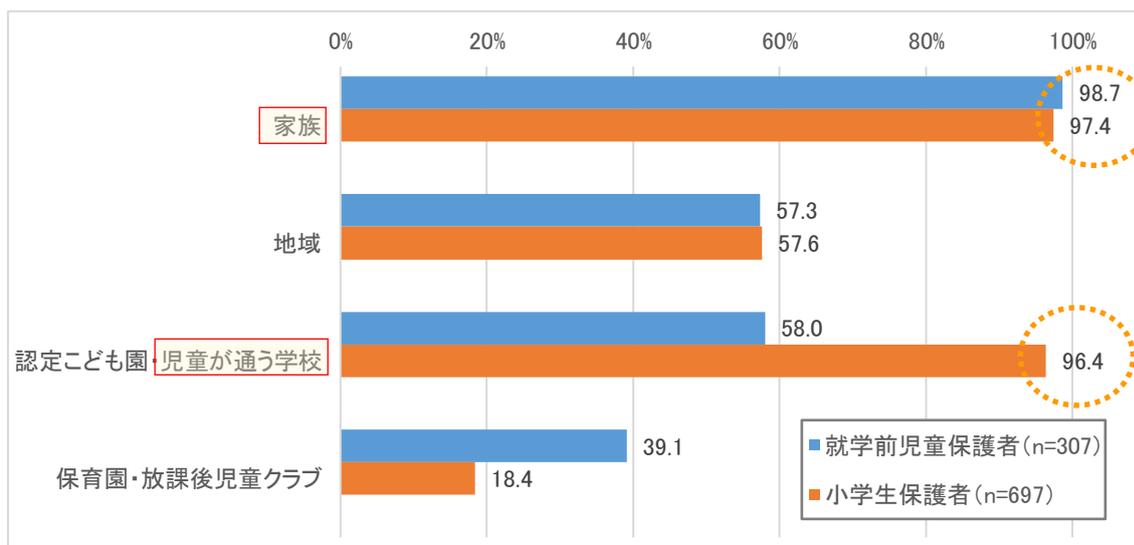
世帯所得の結果を利用した集計結果は 32 ページ以降を参照

(2) 子どもの育ちをめぐる環境

②家庭と学校の役割

①子育てに影響すると思われる環境（複数回答）

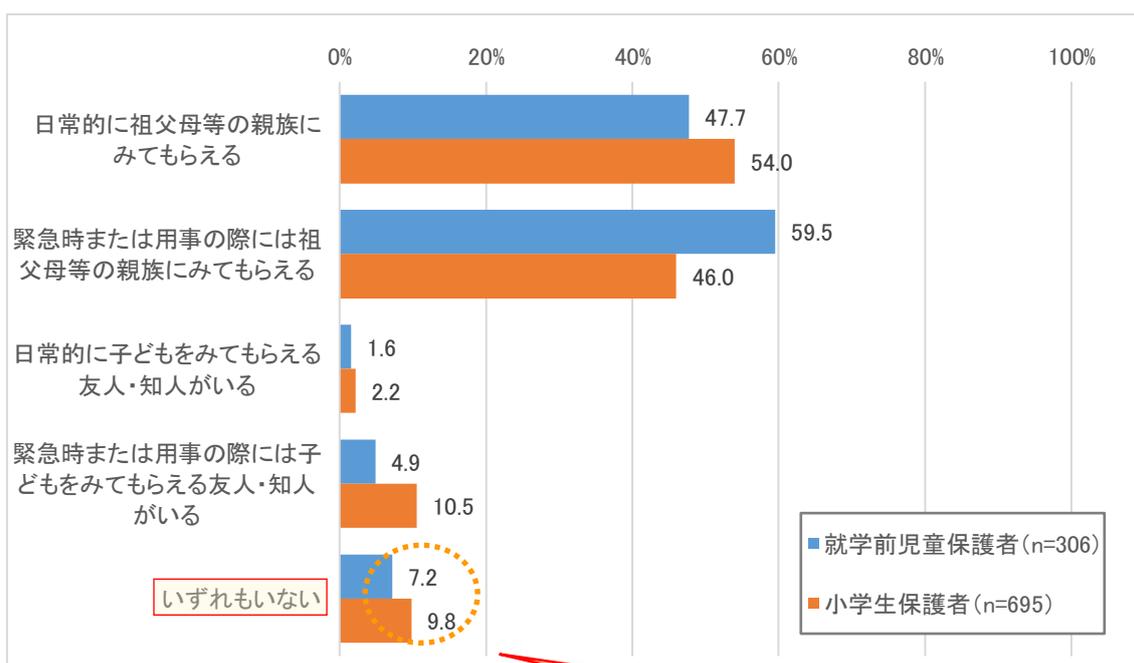
就学前児童保護者、小学生保護者とも、お子さんの子育てに影響すると思われる環境は「家族」が最も高くなっています。次いで、就学前児童保護者は「認定こども園」、小学生保護者は「児童が通う学校」となっています。



②お子さんを見てもらえる親族や知人の状況（複数回答）

③子育てサポートの不在

就学前児童保護者は「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高く、小学生保護者は「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高くなっています。

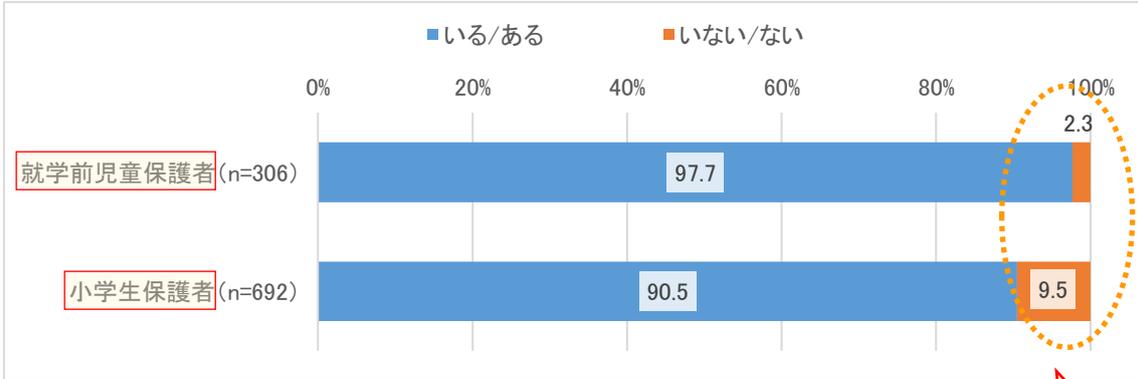


前回 就学前 9.1
小学生 8.8

③子育てサポートの不在(続き)

③相談相手の有無

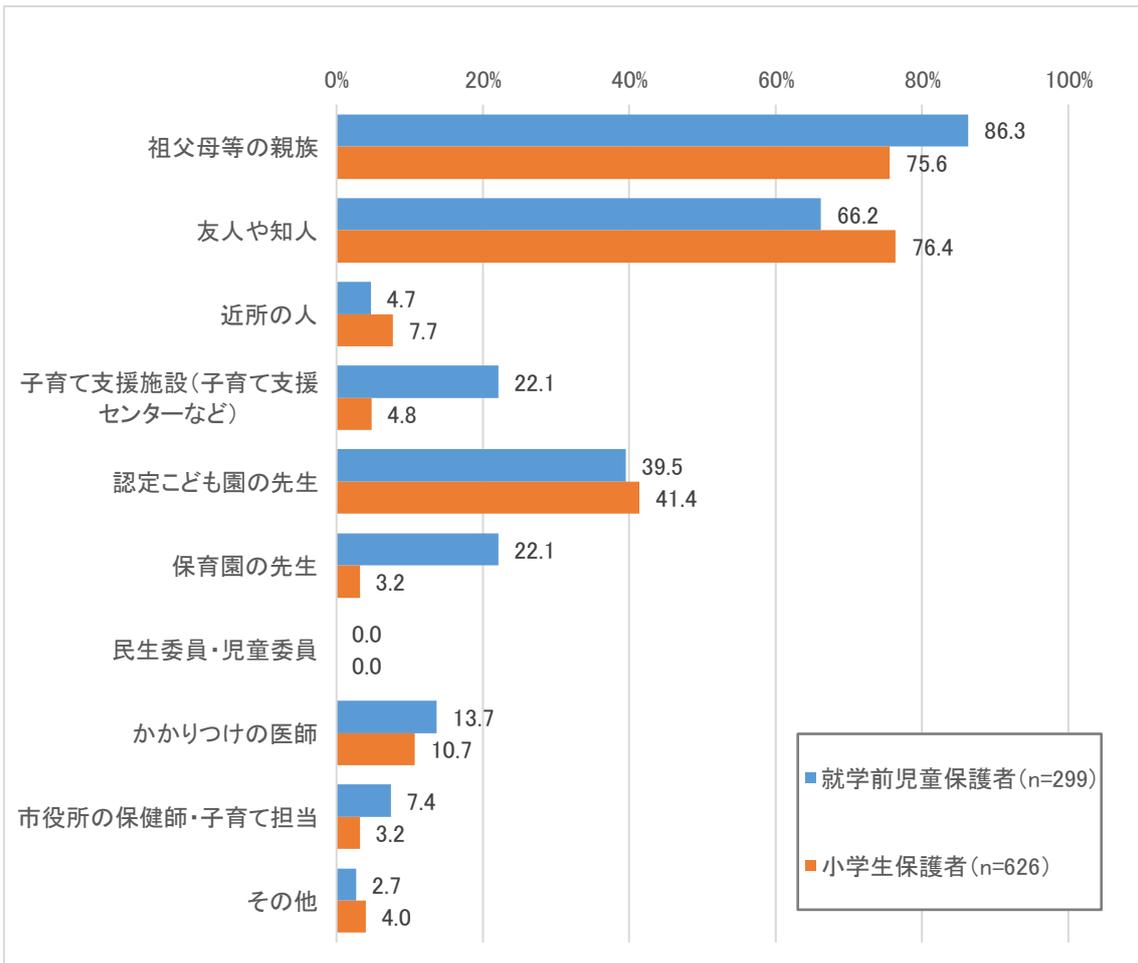
相談相手の有無は、子どもの年齢にかかわらず大きな違いはありません。



前回 就学前 4.8
小学生 7.2

④相談の相手先(複数回答)

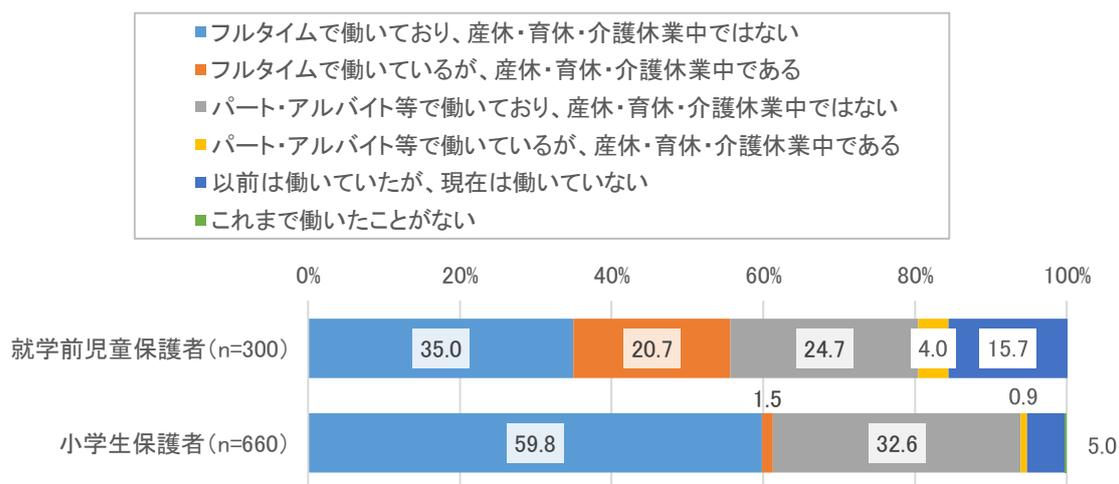
相談相手の有無は、子どもの年齢にかかわらず大きな違いはありません。



(3) 保護者の働き方

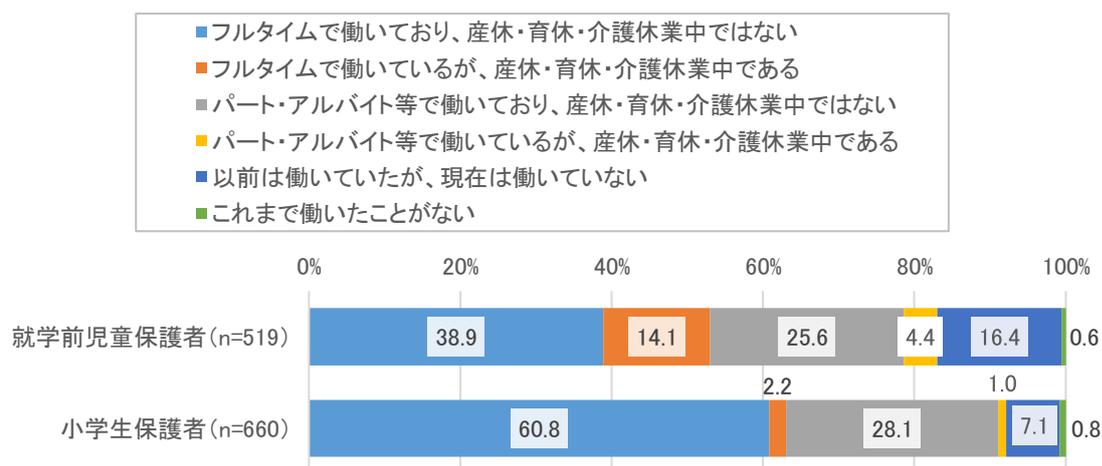
①母親の就労状況

就学前児童保護者は、「フルタイムで就労中」が 35.0%で最も高くなっており、「パート・アルバイトなどで就労中（24.7%）」を合わせると 59.7%が現在就労中です。小学生保護者は、「フルタイムで就労中」が 59.8%で最も高くなっており、「パート・アルバイトなどで就労中（32.6%）」を合わせると 92.4%が現在就労中です。



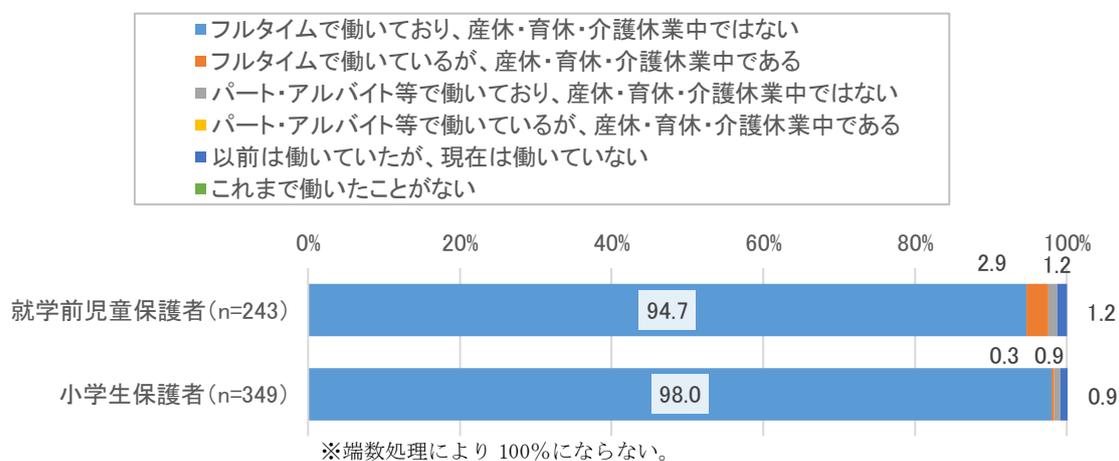
※端数処理により 100%にならない。

【前回（平成 31 年）調査の結果】



②父親の就労状況

父親の就労状況は、子どもの年齢にかかわらず大きな違いはありません。

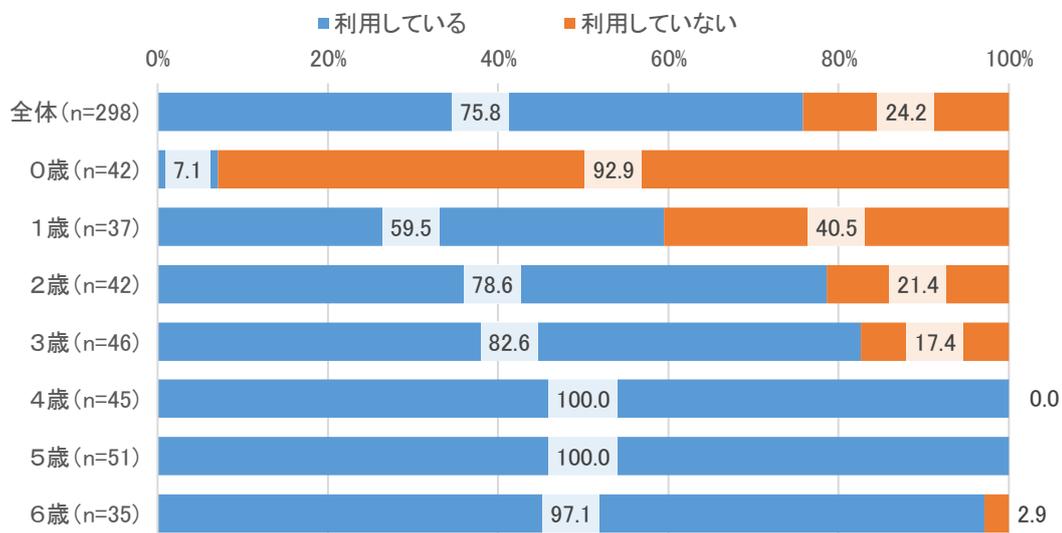


(4) 保育・教育サービスの利用状況や利用希望について

【就学前児童保護者】

①定期的な保育・教育サービスの利用の有無

4歳以上の子どもの利用は、ほぼ100%となっています。

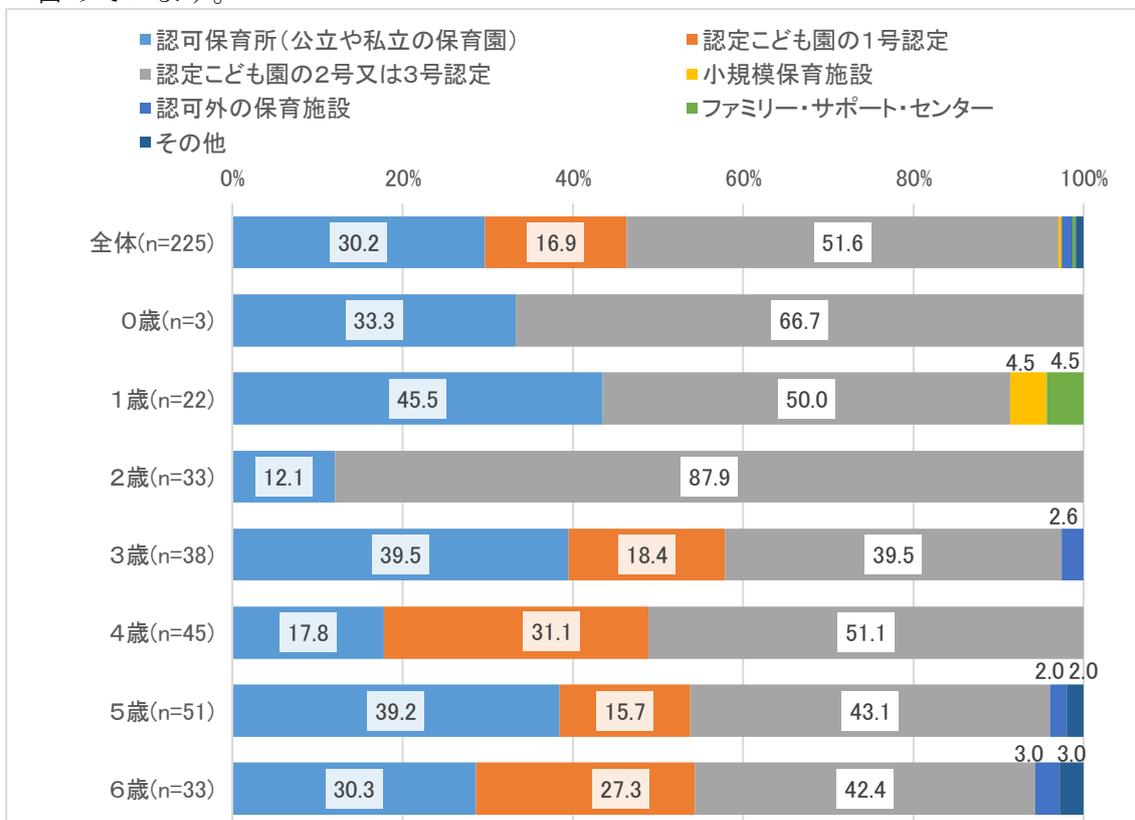


【前回（平成31年）調査の結果】



②利用施設等（①で「利用している」とした人）

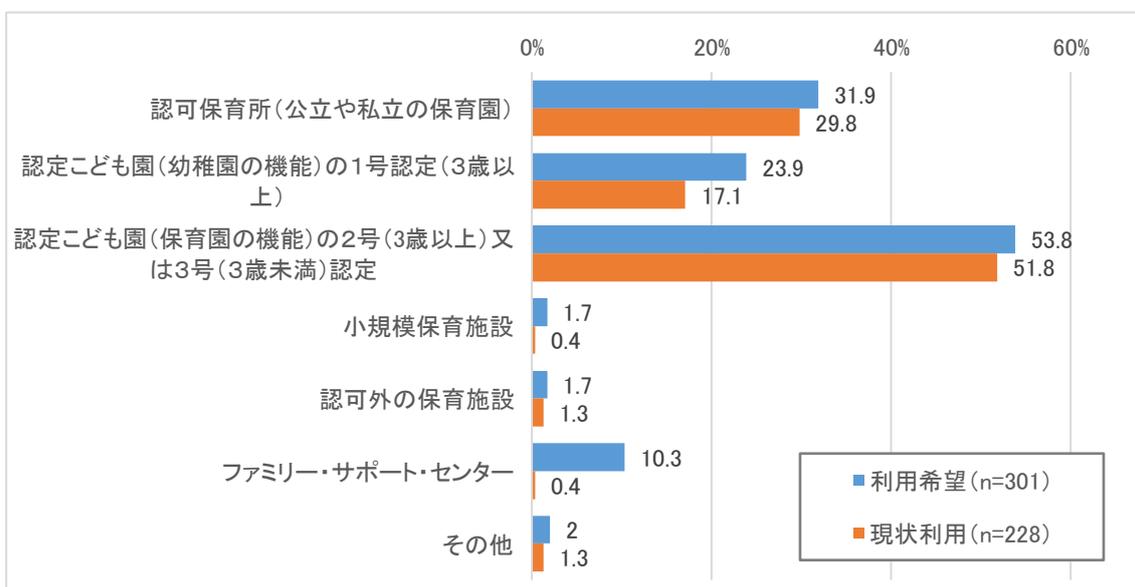
利用施設等は、子どもの年齢にかかわらず認可保育所、認定子ども園で9割以上を占めています。



※端数処理により100%にならないものがある。

③今後の定期的な保育・教育サービスの利用希望（複数回答）

今後の利用希望は、現状の利用実態と近似となっています。認可保育所、認定子ども園以外のサービスを希望する人は、ファミリー・サポート・センターで約1割、それ以外は1割未満となっています。

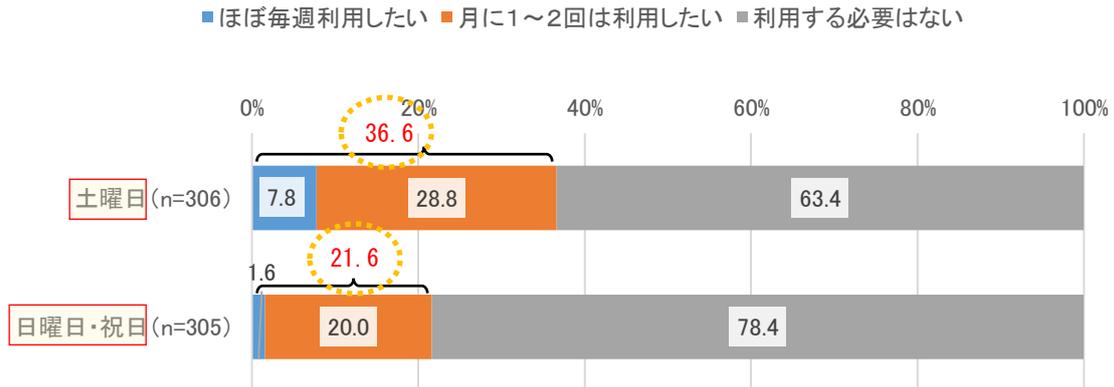


④休日保育のニーズ

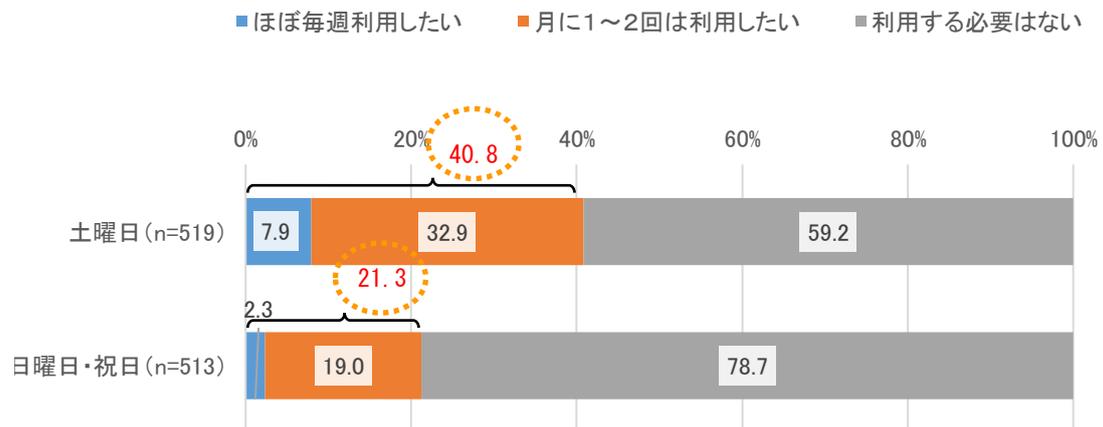
④土日祝日における定期的な保育・教育サービスの利用希望

土曜日については、利用意向頻度に差はありますが、36.6%が「利用したい」としています。頻度としては「月に1～2回は利用したい」が多数を占めています。

日曜日・祝日については、頻度差はありますが、21.6%が「利用したい」としています。頻度としては「月に1～2回は利用したい」が多数を占めています。



【前回（平成31年）調査の結果】



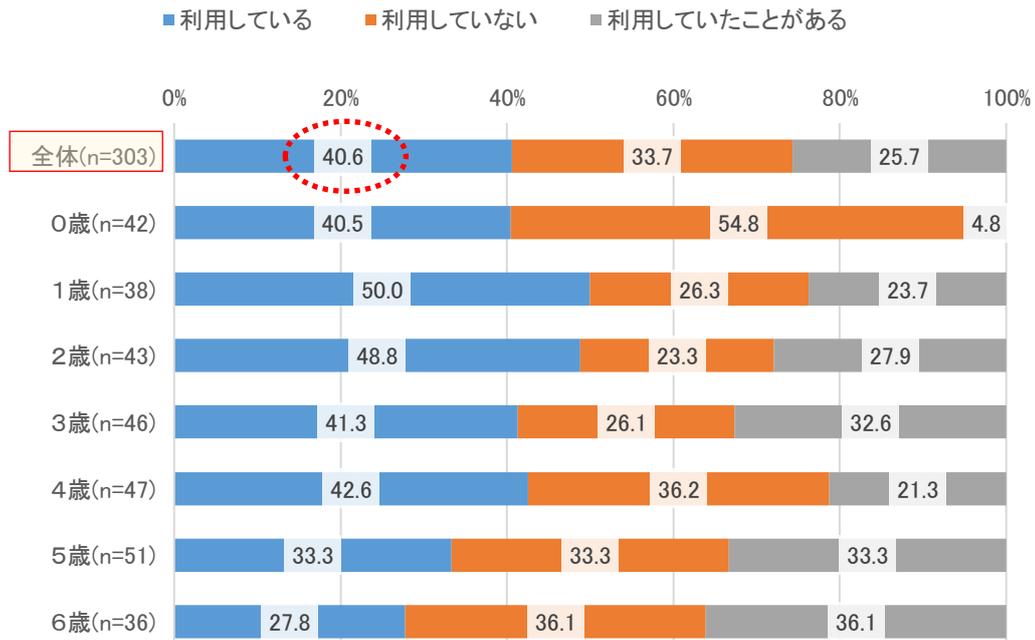
⑤子育て支援センターの利用増

(5) 地域の子育て支援拠点施設の利用状況について

【就学前児童保護者】

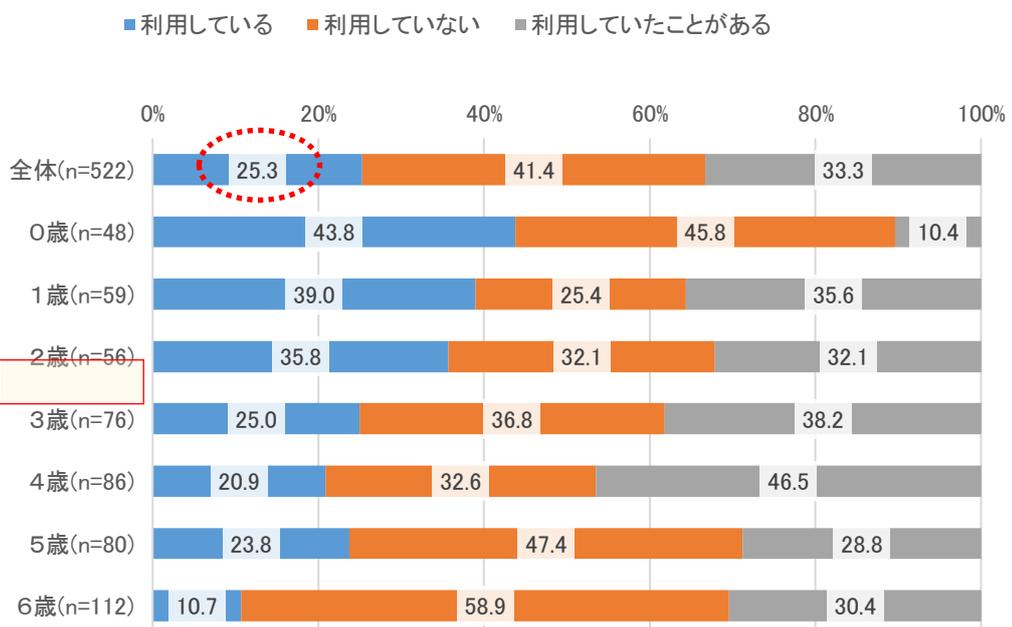
①利用状況

全体では、利用者は40.6%です。子どもの年齢別で見ると、0歳から4歳までの子どもがいる人の利用はそれぞれ4割を超えています。



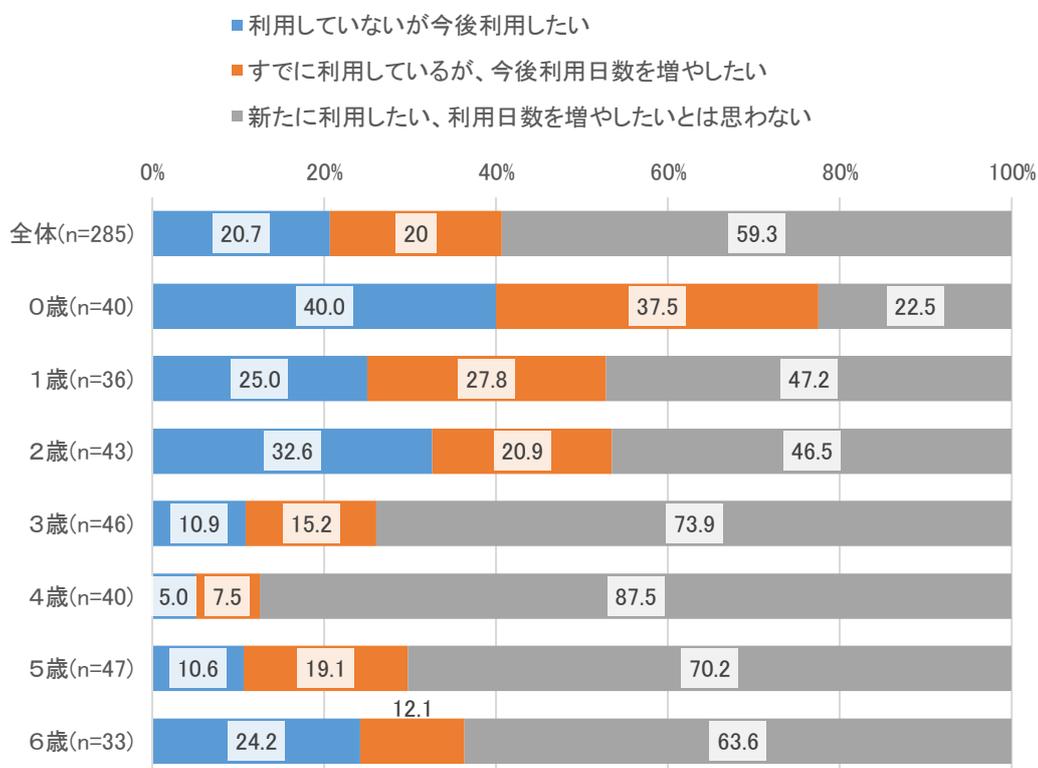
※端数処理により100%にならないものがある。

【前回（平成31年）調査の結果】



②今後の利用意向

全体では、約4割が新規・継続の利用意向を持っています。子どもの年齢別で見ると、0歳の子どもがいる人は新規・継続の利用意向が8割弱となっています。



※端数処理により 100%にならないものがある。

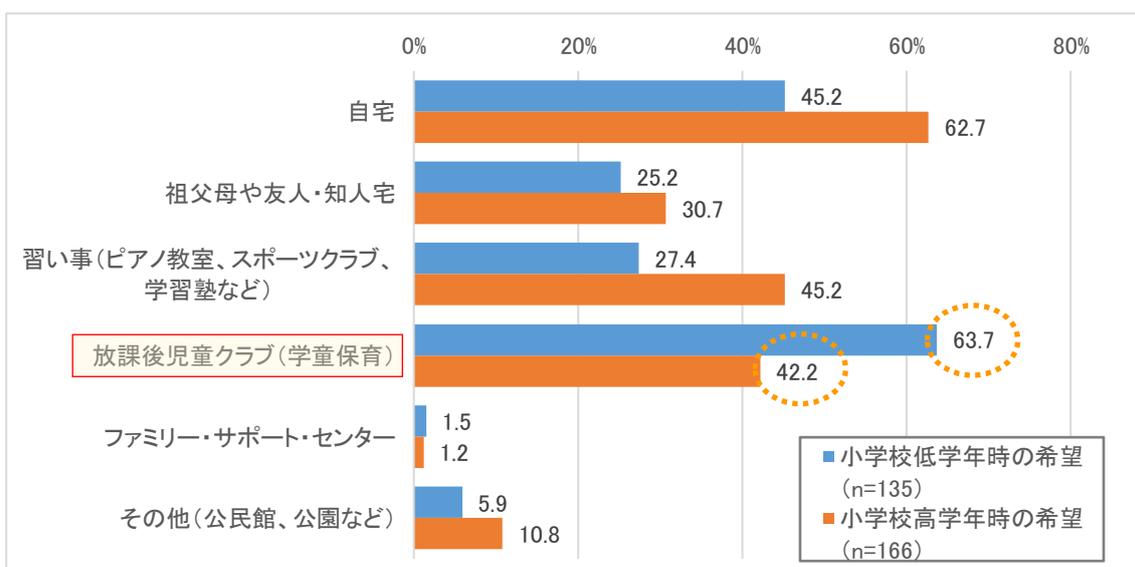
(6) 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望について

【5歳～6歳の子どもがいる保護者】

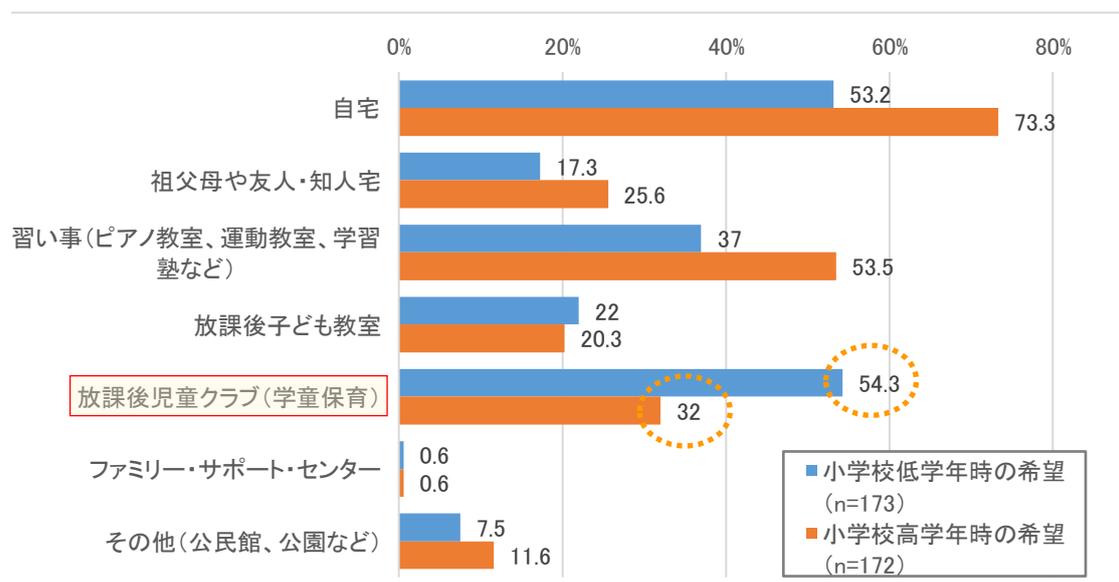
⑥放課後児童クラブの利用希望増

①放課後の過ごし方に対する希望（複数回答）

低学年時は「放課後児童クラブ」希望者が63.7%で最も高く、高学年になると「自宅」希望者が62.7%で最も高くなっています。前回に比べて、「課後児童クラブ」が低学年（54.3%→63.7%）、高学年（32.0%→42.2%）とも上昇しています。



【前回（平成31年）調査の結果】



(7) 放課後児童クラブの利用状況について

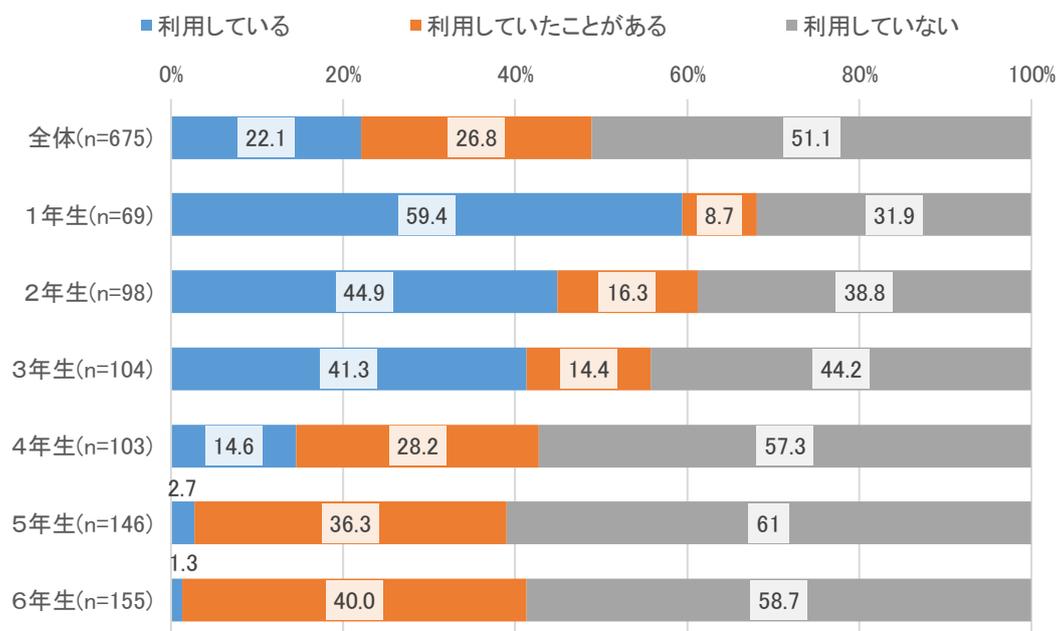
【小学生保護者】

①利用状況

全体では、22.1%の児童が放課後児童クラブを現在利用しています。学年別の利用者比率をみると、1年生が59.4%と最も高く、学年が進むにつれて低下しています。

なお、利用している理由は、「子育てをしている方が現在働いている」が9割台半ばとなっています。利用していない理由は、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が5割台半ばとなっています。

前回（平成31年）調査と比べると、全体では「利用している」割合が高まっています。

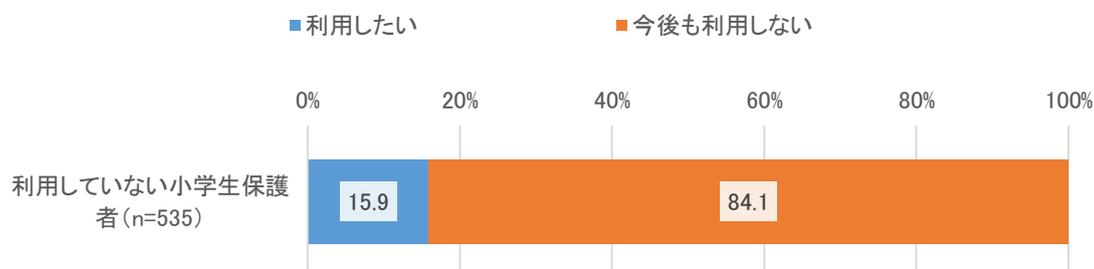


【前回（平成31年）調査の結果】

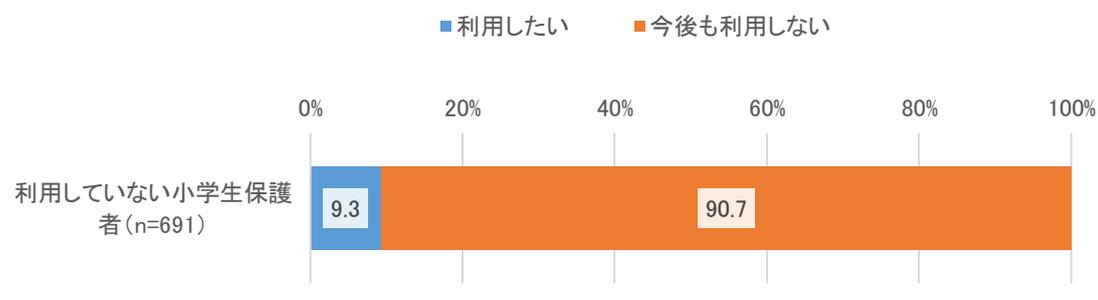


②利用していない人の今後の希望（①で「利用していない」とした人）

放課後児童クラブを利用していない人は、「今後も利用しない」が 84.1%となっています。

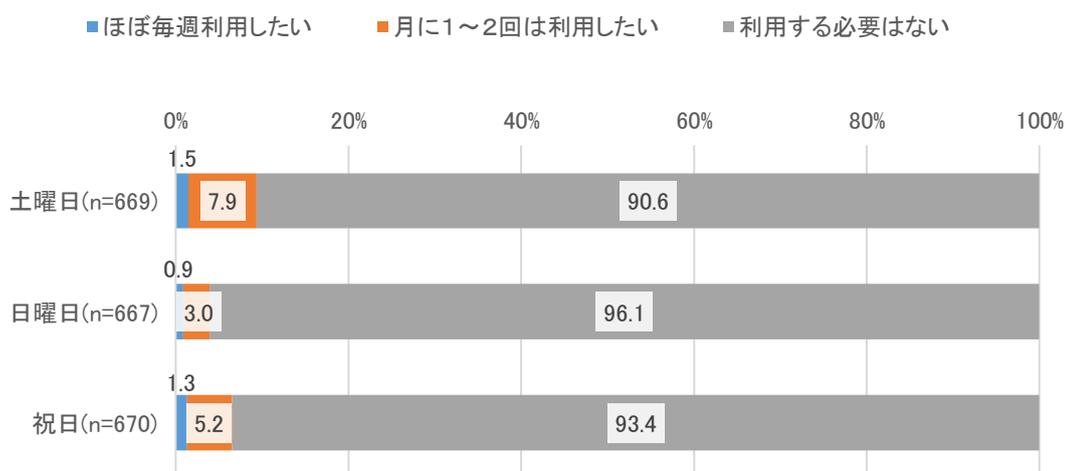


【前回（平成 31 年）調査の結果】



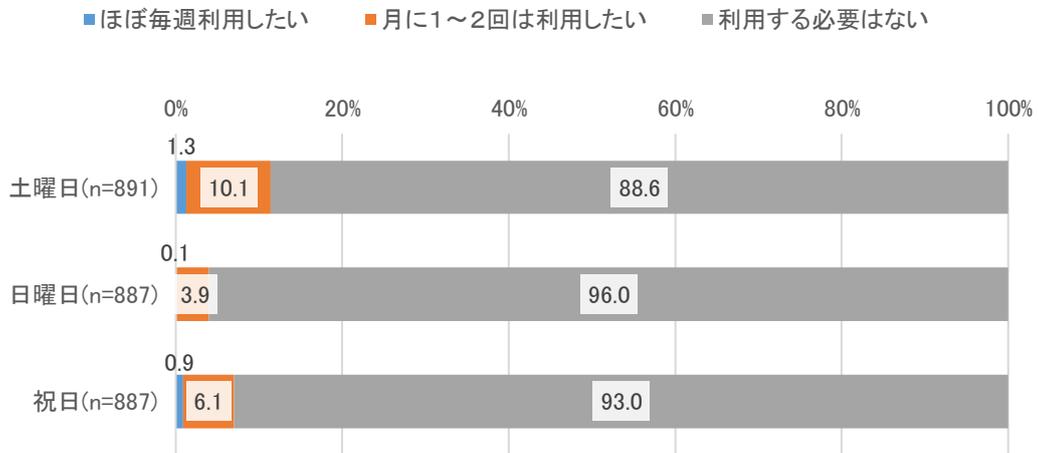
③土日祝日の放課後児童クラブの利用希望

土曜日、日曜日、祝日とも、9割以上が「利用する必要はない」としています。



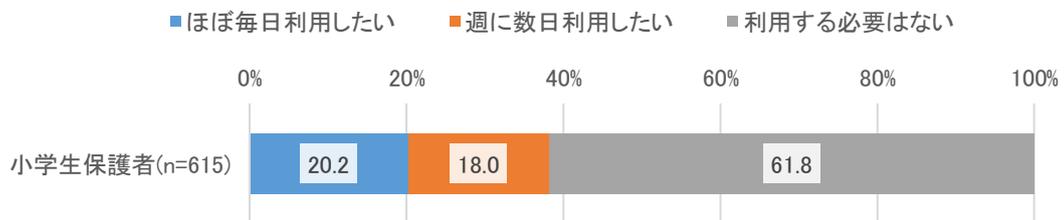
※端数処理により 100%にならないものがある。

【前回（平成 31 年）調査の結果】

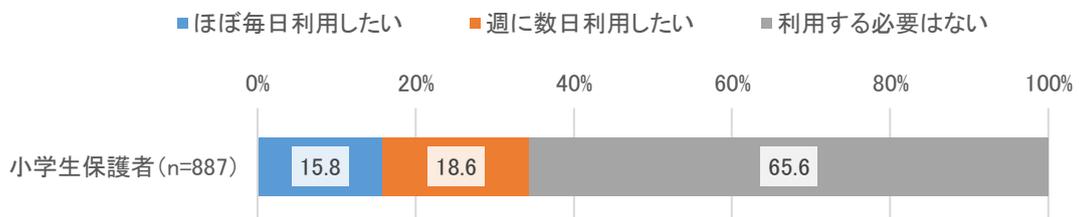


④長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

長期休暇期間中については、61.8%が「利用する必要はない」としています。

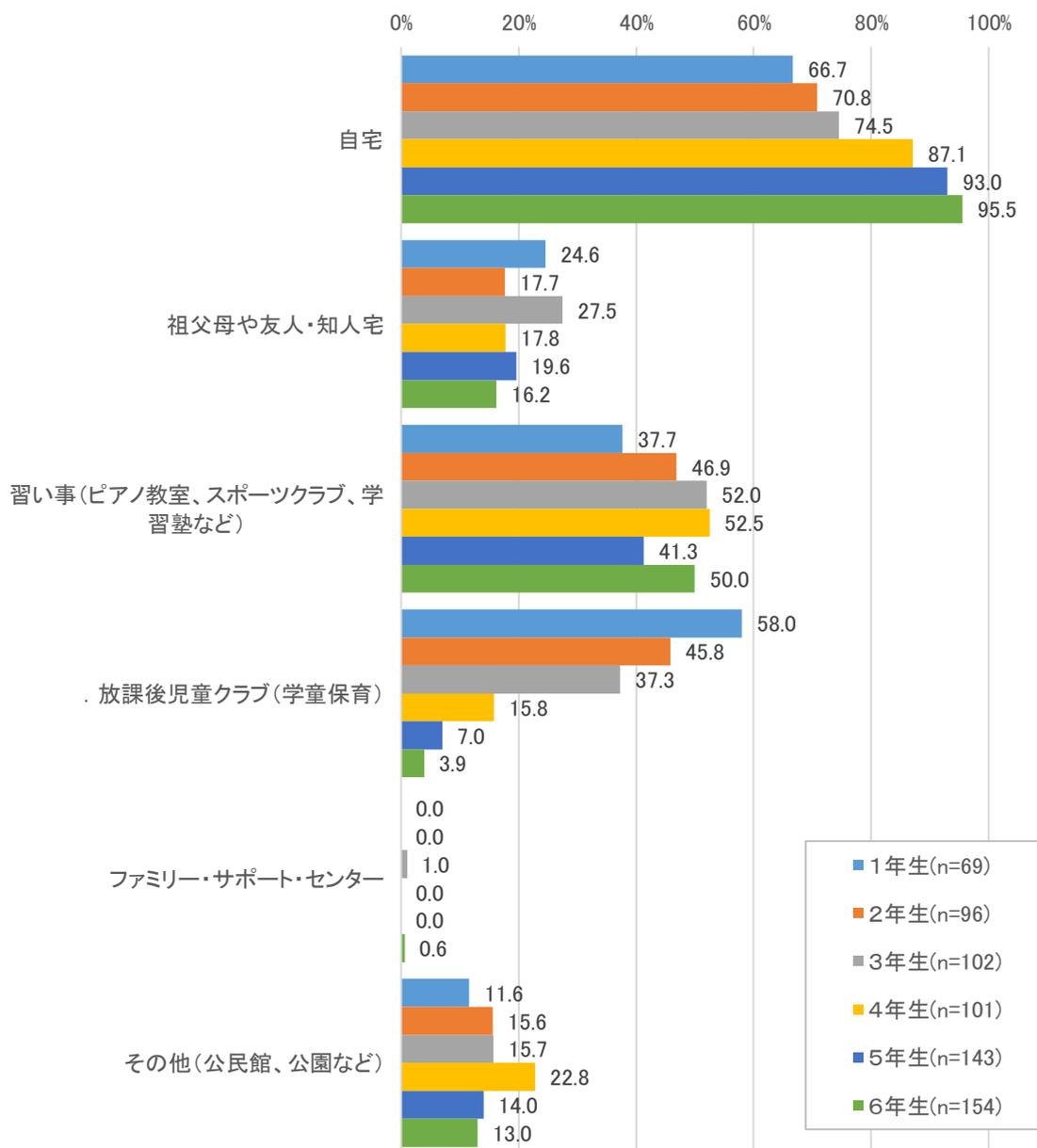


【前回（平成 31 年）調査の結果】



⑤放課後の過ごし方に対する希望（複数回答）

放課後の過ごし方に対する希望は、「自宅」が全ての学年で6割を超えています。次いで、「習い事」が全ての学年で3割台、「放課後児童クラブ」は低学年（1～3年生）では3割を超えますが、高学年（4～6年生）では4年生で1割台、5年生と6年生では1割未満となっています。



(8) 子育て支援サービスについて

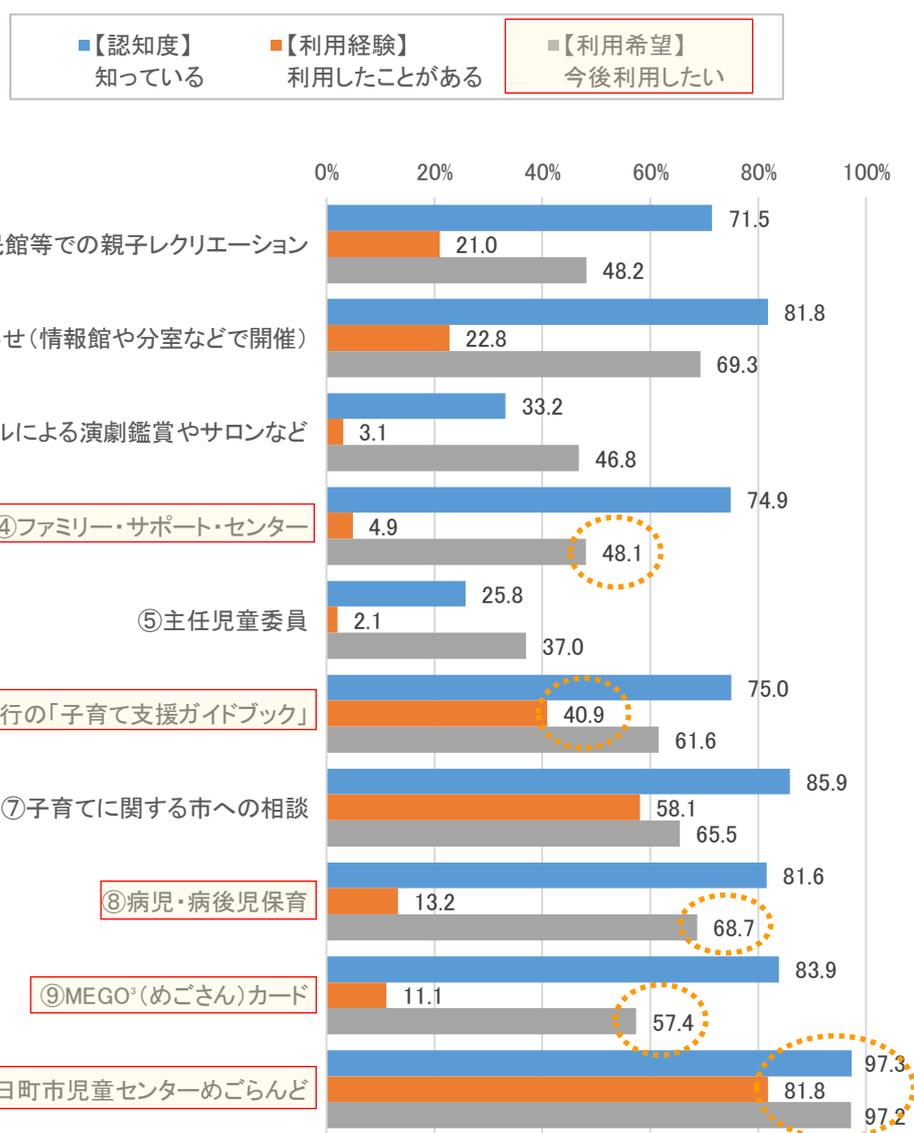
⑦子育て支援サービスの利用の変化(就学前児)

①子育て支援サービスの認知度・利用経験・利用希望について

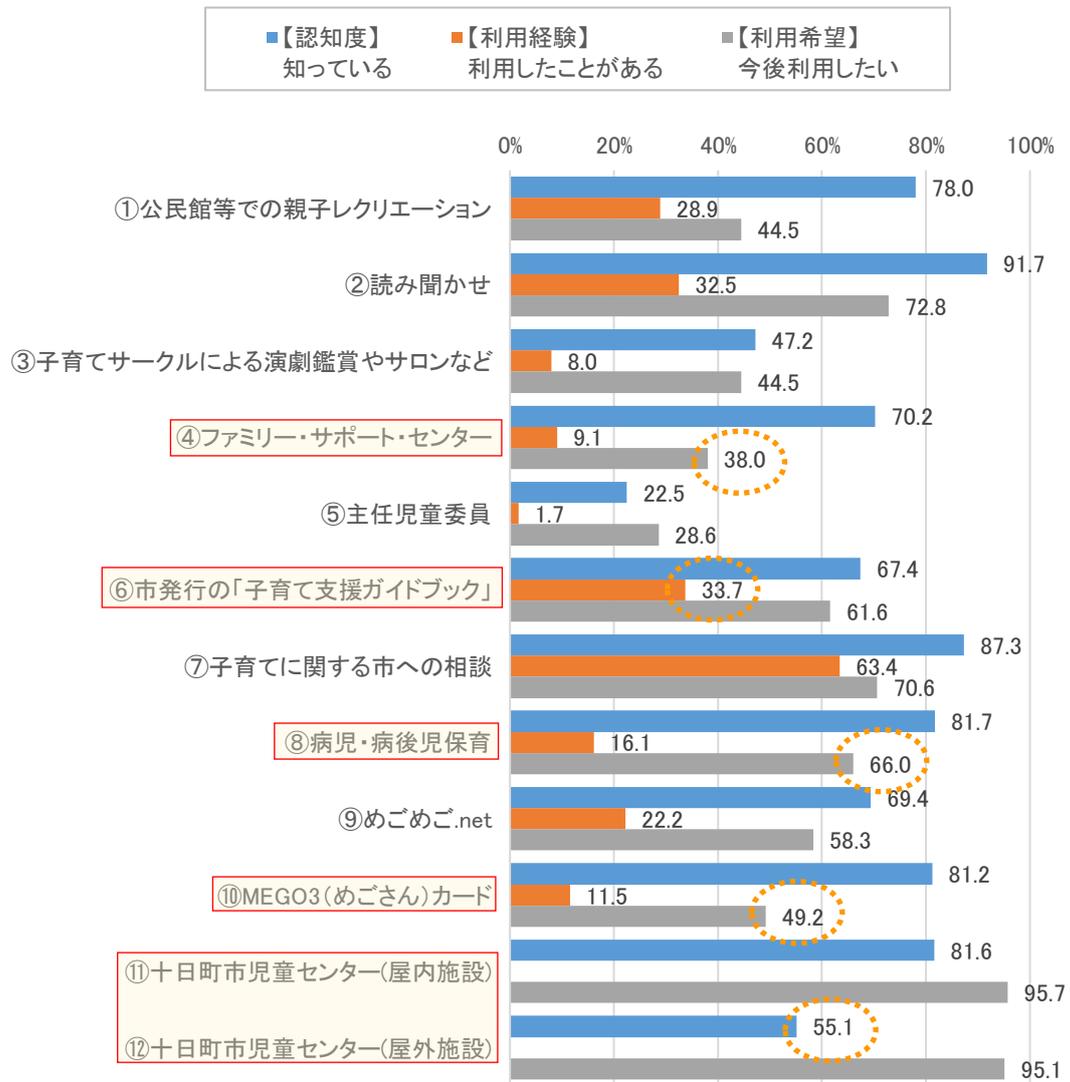
【就学前児童保護者】

認知度、利用経験、利用希望とも「十日町児童センターめぐらんど」が最も高く、認知度はほぼ100%、利用経験は8割強、利用希望もほぼ100%となっています。

「十日町児童センターめぐらんど」以外については、認知度は「子育てに関する市への相談」「MEGO³(めぐさん)カード」「読み聞かせ」「病児・病後児保育」で8割台、利用経験は「子育てに関する市への相談」で6割弱、利用希望は「読み聞かせ」「病児・病後児保育」「子育てに関する市への相談」で6割台後半となっています。



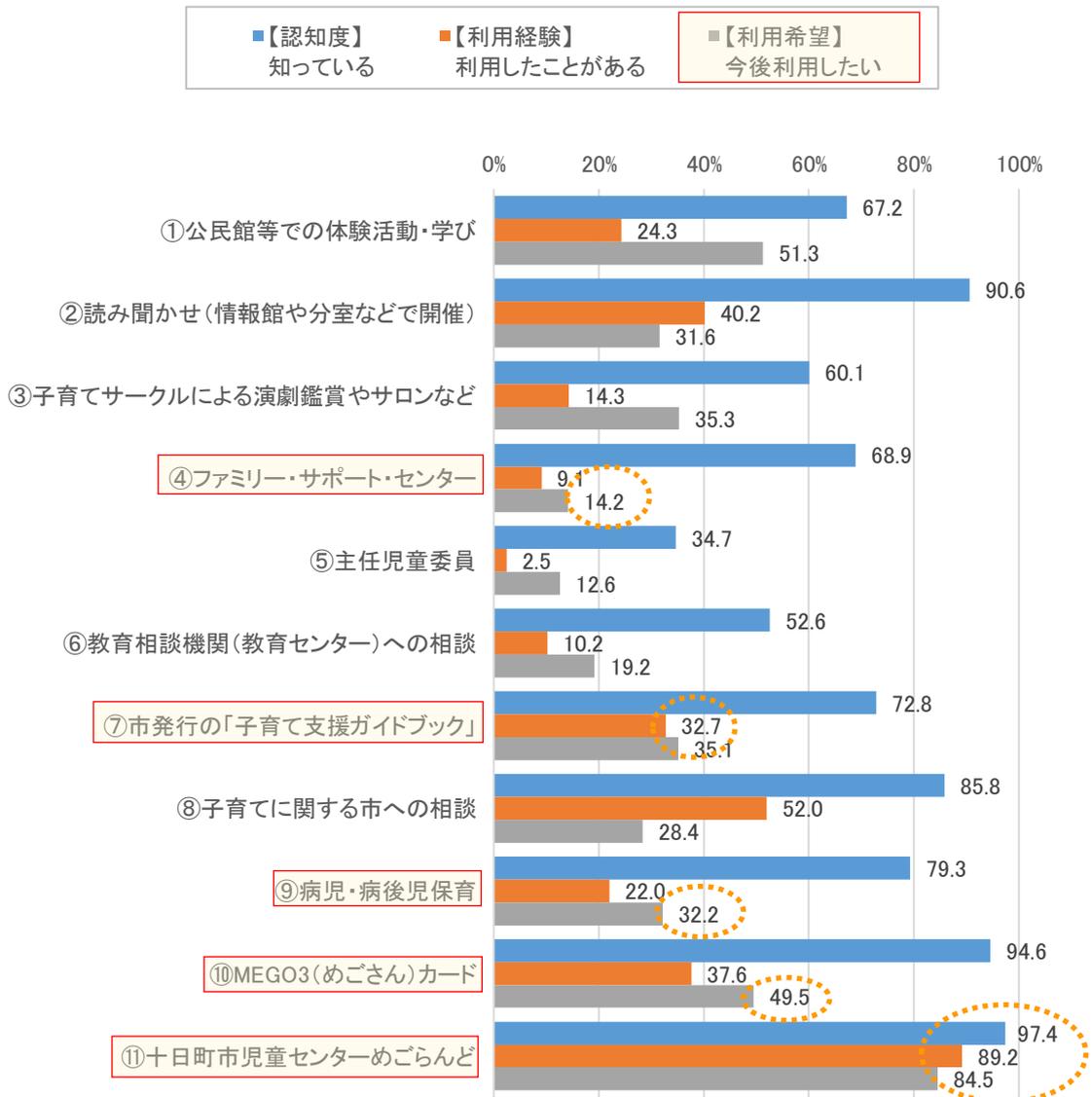
【前回（平成 31 年）調査の結果】



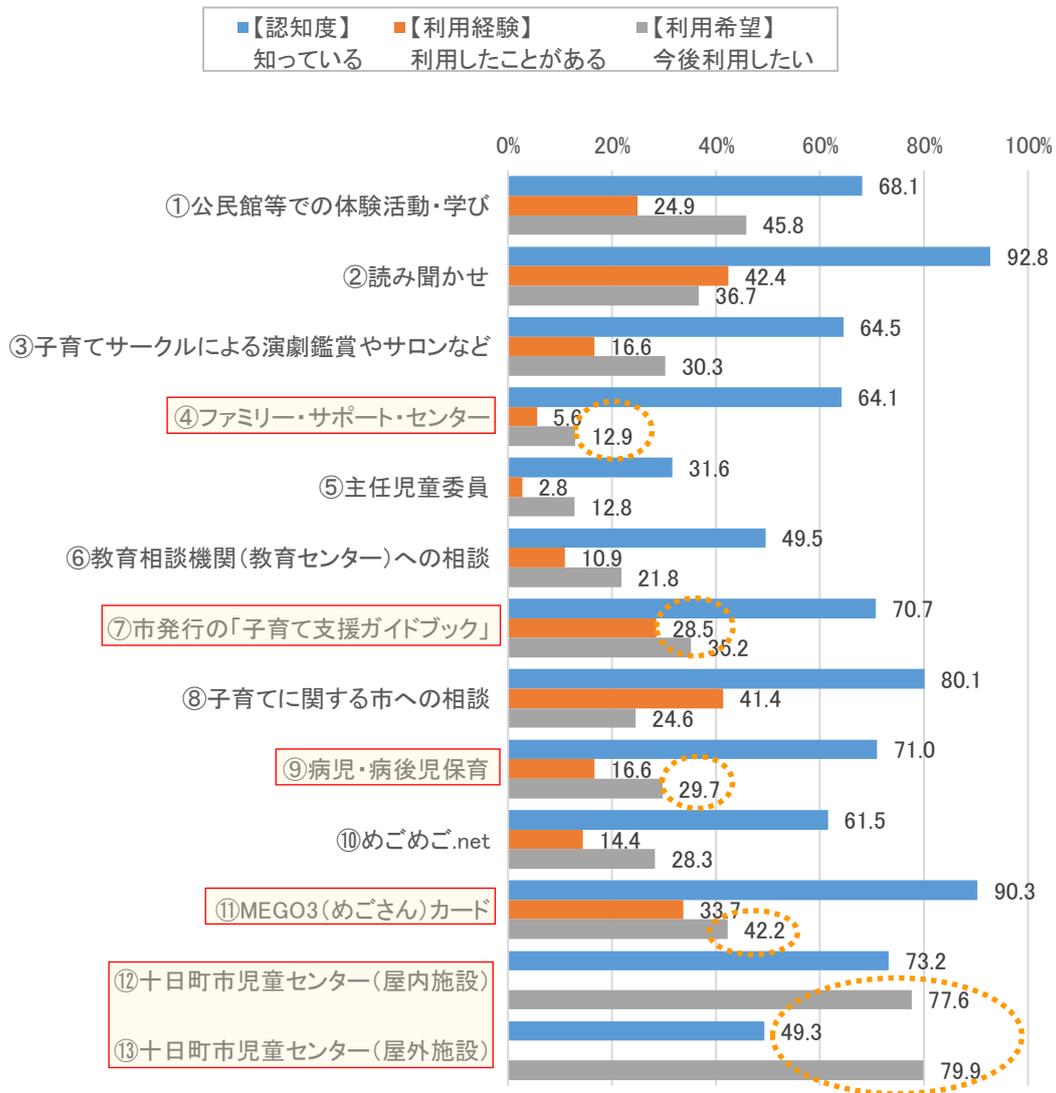
②子育て支援サービスの認知度・利用経験・利用希望について

【小学生保護者】

認知度、利用経験、利用希望とも「十日町児童センターめぐらんど」が最も高くなっています。「十日町児童センターめぐらんど」以外については、認知度は「MEGO³（めぐさん）カード」「読み聞かせ」で9割台、利用経験は「子育てに関する市への相談」で5割強、利用希望は「公民館等での体験活動・学び」で5割強となっています。



【前回（平成 31 年）調査の結果】

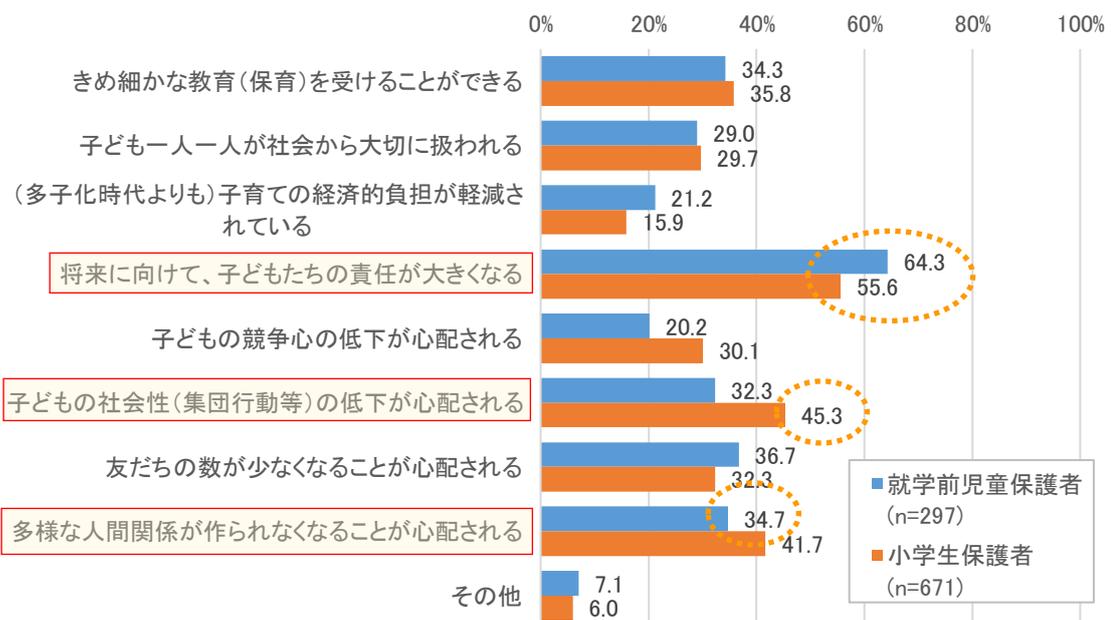


(9) 少子化に対する意見・家庭の状況

⑧少子化について

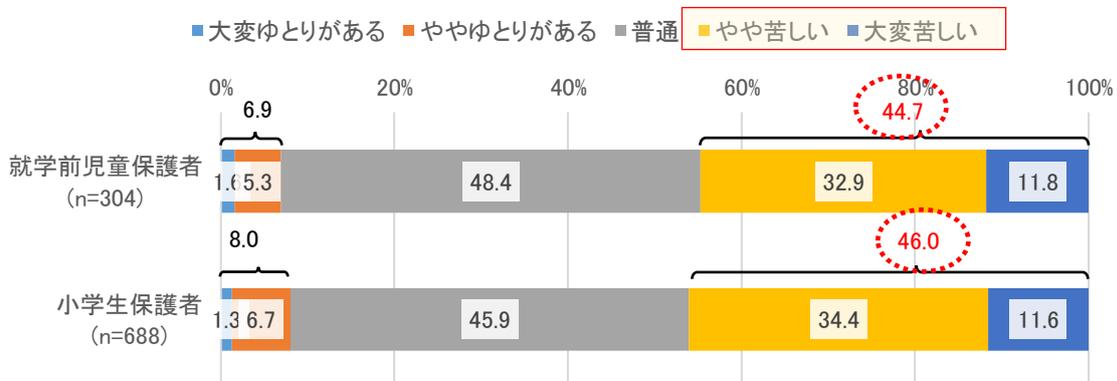
①少子化に対する意見（良い面・悪い面をどのように感じているか）

就学前児童保護者、小学生保護者とも「将来に向けて、子どもたちの責任が重くなる」が最も高く、次いで、就学前児童保護者では「友だちの数が少なくなるのが心配される」、小学生保護者では「子どもの社会性の低下が心配される」が高くなっています。



②現在の暮らしの状況

就学前児童保護者、小学生保護者とも「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合が4割を超えています。

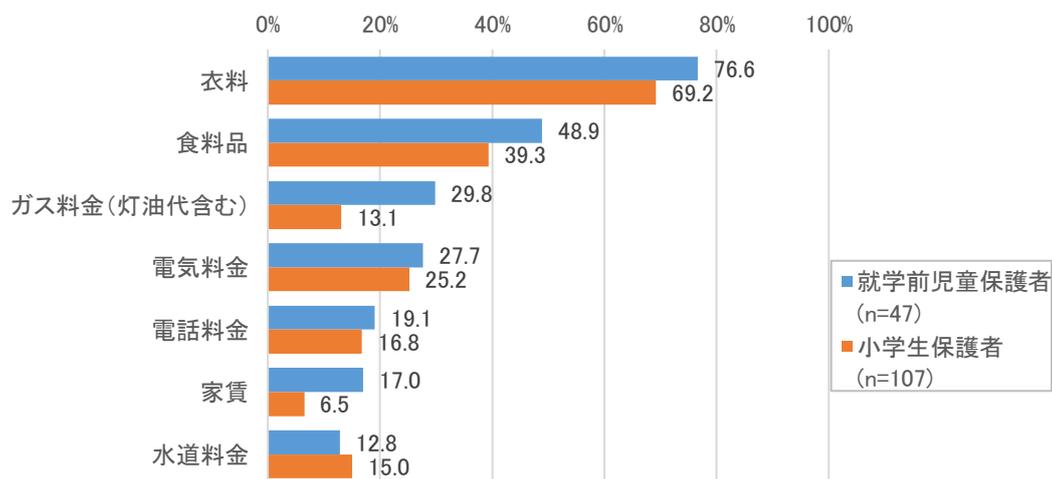


⑨暮らしの経済的状況

※端数処理により 100%にならないものがある。

③経済的な理由で支払えなかったことや買えなかったもの

就学前児童保護者、小学生保護者とも「衣料」が最も高く、就学前児童保護者で7割台半ば、小学生保護者で約7割となっています。次いで「食料品」が多く、就学前児童保護者で5割弱、小学生保護者で4割弱となっています。

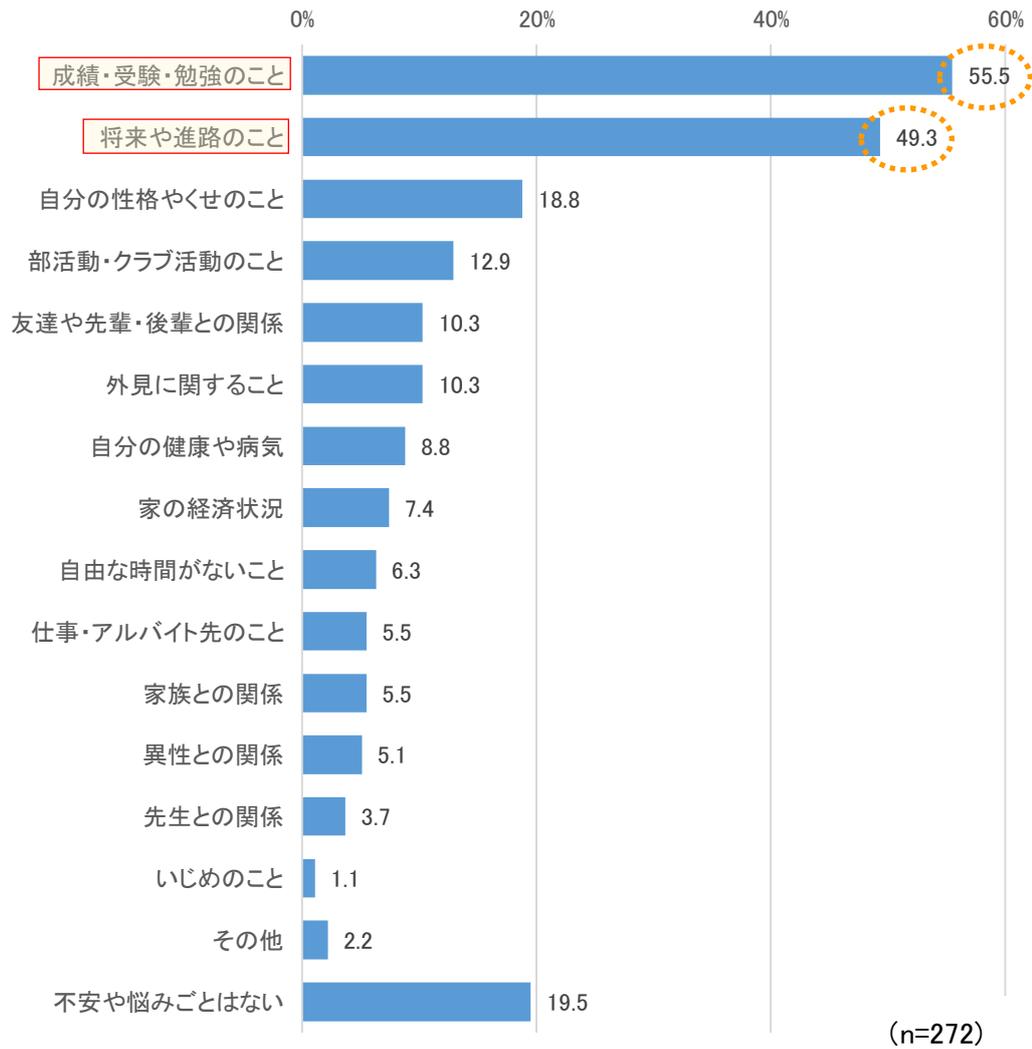


(10) 不安や悩みごと、友人関係について（学生等）

⑩不安や悩み

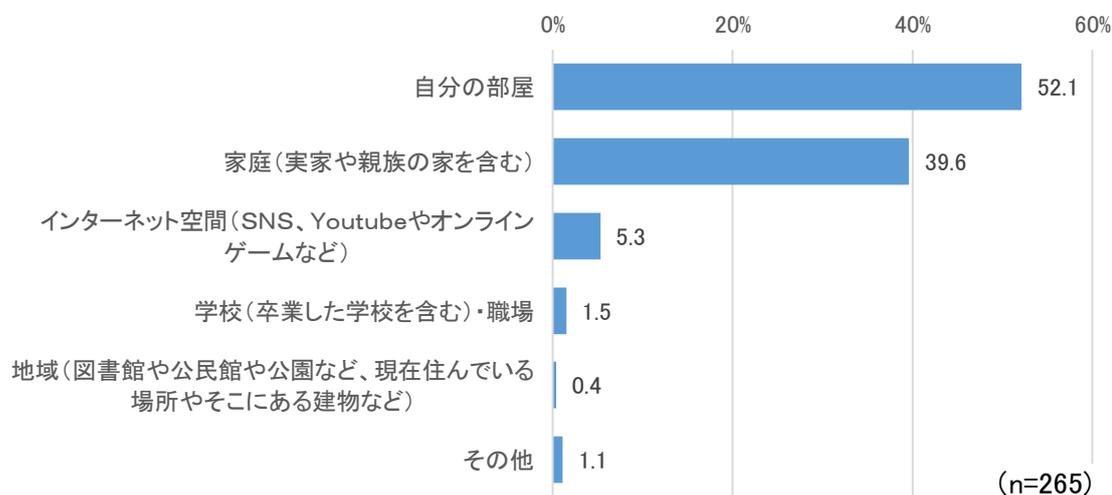
①不安や悩みごとの内容

「成績・受験・勉強のこと」が5割台半ばで最も高く、次いで「将来や進路のこと」が約5割となっています。以下「自分の性格やくせのこと」「部活度・クラブ活動のこと」が続いています。



②自分にとっての居場所

「自分の部屋」が5割を超えて最も高く、次いで「家庭（実家や親族の家を含む）」が約4割となっています。

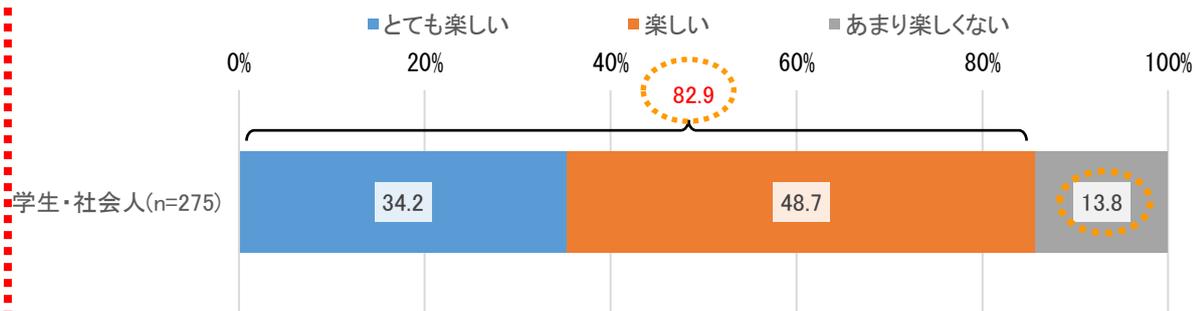


(11) 学校や仕事のことについて（学生等）

①学校・仕事について

①学校や仕事は楽しいか

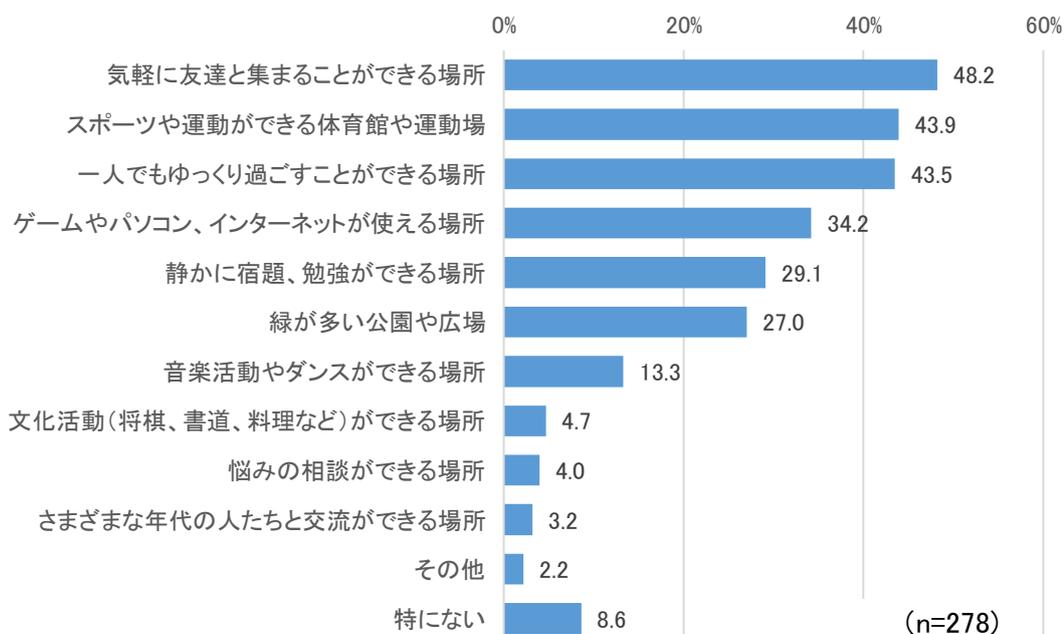
「とても楽しい」「楽しい」を合わせた割合は8割を超えています。



(12) 地域との交流について (学生等)

①放課後や休日にどのような場所があれば行ってみたいか

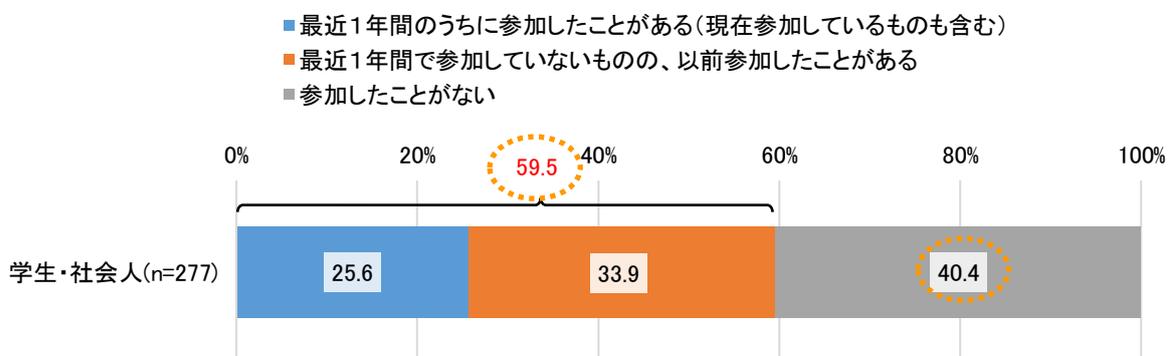
「気軽に友達と集まることができる場所」が5割弱で最も高く、以下「スポーツや運動ができる体育館や運動場」、「一人でもゆっくり過ごすことができる場所」が4割台で続いています。



②地域活動等への参加度

②地域の活動やボランティア活動への参加状況

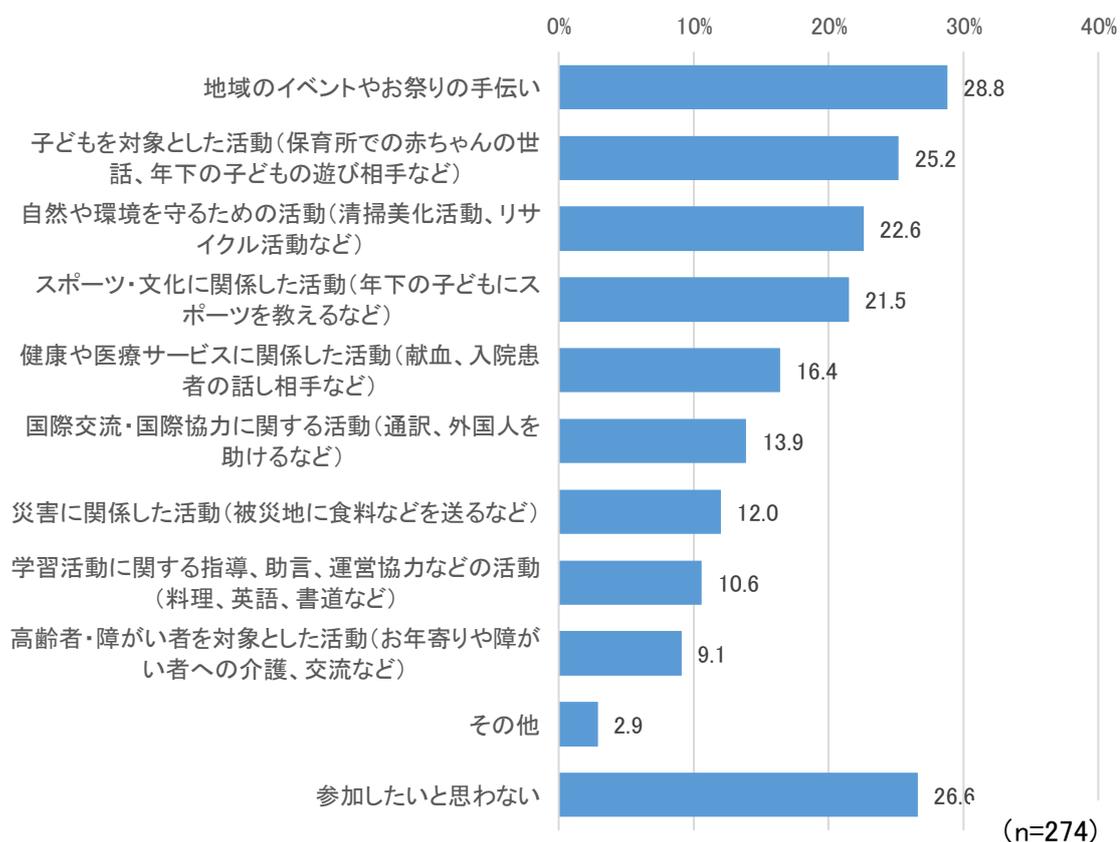
「最近1年間のうちに参加したことがある」と「最近1年間で参加していないものの、以前参加したことがある」を合わせた「これまでに参加したことがある」の割合は約6割となっています。



※端数処理により 100%にならない。

③参加してみたい地域の活動

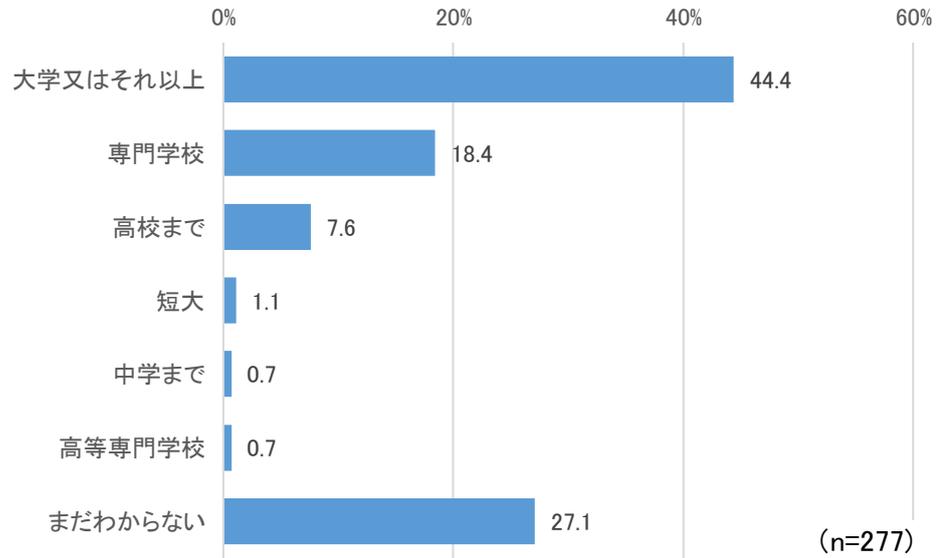
「地域のイベントやお祭りの手伝い」が3割弱で最も高く、以下「子どもを対象とした活動」「自然や環境を守るための活動」「スポーツ・文化に関係した活動」が2割台で続いています。



(13) 将来のことについて (学生等)

①進学したい段階

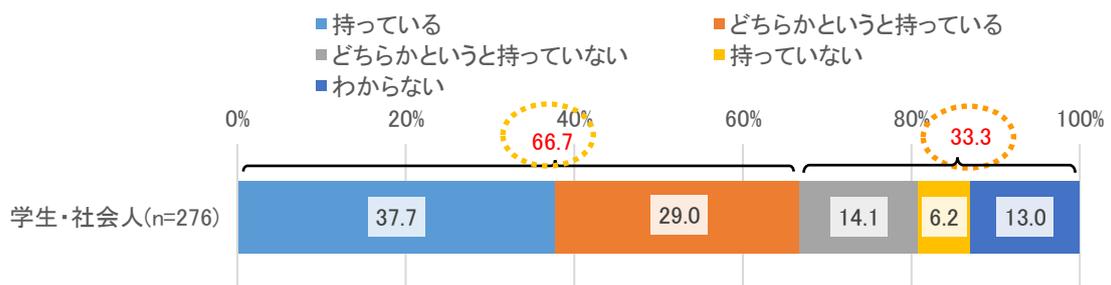
どの段階まで進学したいかについては、「大学又はそれ以上」が4割台半ばで最も高く、次いで「専門学校」が2割弱となっています。



⑬夢・目標

②夢や目標の有無

「持っている」と「どちらかというを持っている」を合わせた“夢や目標を持っている”の割合は6割台半ばとなっています。



⑭子育ての満足度

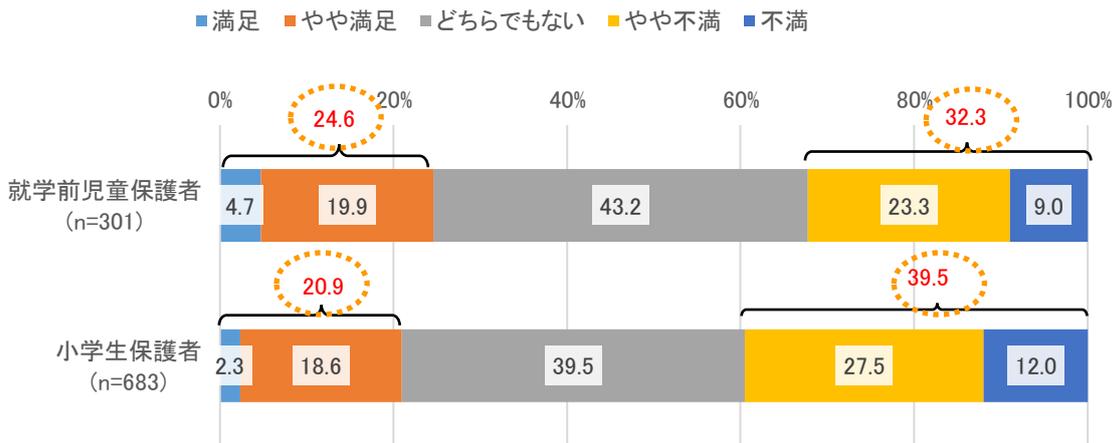
(14) 本市における子育ての環境や支援への満足度について

就学前児童保護者では、「満足」と「やや満足」を合わせた評価が24.6%、「やや不満」と「不満」を合わせた評価は32.3%となっています。前者から後者を差し引いたDIは△7.7ポイントとなっています。

小学生保護者では、「満足」と「やや満足」を合わせた評価が20.9%、「やや不満」と「不満」を合わせた評価は39.5%となっています。前者から後者を差し引いたDIは△18.6ポイントとなっています。

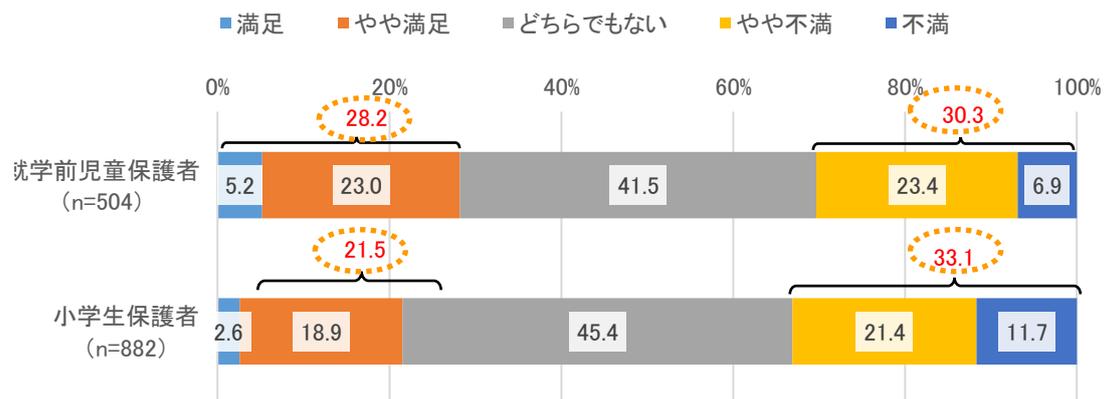
前回（平成31年）調査と比べると、就学前児童保護者ではDIが5.6ポイント減少（△2.1→△7.7）、小学生児童ではDIが7.0ポイント減少（△11.6→△18.6）しています。

減少の要因については、令和2年2月からコロナ禍がはじまり、令和5年5月のコロナが5類に移行するまでの3年余りもの間、様々な行動制限をはじめ、保育等のサービスや学校にも利用制限があったことが大きいものと考えられます。



※端数処理により100%にならない。

【前回（平成31年）調査の結果】



自由意見まとめ

1 未就学児保護者

アンケート調査票の自由記述欄において、合計 173 件の意見を寄せていただきました。内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりです。なお、意見については延べ件数でまとめています。

(1) 自由意見の内訳

分 野	件数
① 保育サービスについて	42
② 医療について	9
③ 医療費助成について	9
④ 遊び場について	20
⑤ 子育てについて	50
⑥ 放課後児童クラブについて	4
⑦ MEG03 カードについて	16
⑧ 学校運営について	8
⑨ その他	15
計	173

(2) 主な意見

<p>①保育サービスについて (42 件)</p> <ul style="list-style-type: none">・幼稚園を1. 2歳から無料にしてほしい・自分が体調が悪いとき、1時間でもいいから子どもをみてもらって休みたいと思うことがありました・土日だけではなく、年末年始や長期休みの間、子供を預けられる施設への市の補助金などがもっと豊かになればなと思っています・仕事復帰にあたり、希望の保育園に入れるかどうか不安・サービス業で土日祝日も仕事の方も多と思います。そこも保育園を利用し保護者が休みの時に子供も休ませたい・同じ市内の保育施設でも、保護者の負担に違いがあるように思います・コロナがあけても下熱後、24時間経過しないと保育園に預けられないのは大変です。負担が大きいです・魚沼市のように保育料を安くしてほしい・土曜の出勤日に病児保育を利用できるとありがたいです・0歳～2歳の保育料をもう少し安くしてほしい
--

<p>④遊び場について (20 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めぐらんど」はあって大変子供も喜んでありがたいのですが、もう少し大きめな公園（遊具やアスレチックがあり）、（南魚沼市の銭淵公園や、八色の森や月岡公園など）が1つあると、いいなあと思います ・親子で遊べる施設が少ないので大きくなくてもいいので増やしてほしい（公園は多いが遊具が少ない） ・めぐらんども子供の遊び場としてとても良いですが小さい子向けなので、世情を知る為にも映画館や遊ぶ場所のある大型商業施設等を誘致してほしい ・悪天候時（猛暑、積雪時期含め）に子供を遊ばせられる場所がもう少しあると有難いです ・もっと室内で遊ばせられる場所がほしい。めぐらんどは室内にアスレチック的な物があるけれど小さい子供には厳しいので横面積が広いスペースで走り回れる場所がほしい
<p>⑤子育てについて (50 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター（くるる）は、水曜日と祝日がお休みになり不便に感じます。職員の方がいなくても日曜日のような形でやっていただけると大変助かります ・現在子育ての面で一番心配しているのは雪の季節の事です。両親共に実家が遠く、頼れる親せきも友人も近くにいません ・中学校就学時にクロカンスキー道具を一式購入（用意）しなければならず、金銭的負担が大変大きいとの話を知人からききました。用意する学用品も同じ市立中学でも学校によって異なり金銭的負担額もかなり変わってくるようなので、市立中学なら負担額をそろえていただけるといいのかなと思いました ・保育料や授業料、給食費の無償化をしてもらいたい ・両親共働きで、負担は母のみで、母の働き方やワークライフバランスって何だろうと日々痛感しています。それぞれの家庭の考えもあると思いますが、父親の子育ての関与や意識改善などの普及啓発や、母のワークライフバランスなどの研修会等があればと思います ・子育て支援金を増やしてほしい。子供の誕生月に地域商品券やクーポンなどがもらえるとありがたい
<p>⑦MEG03 カードについて (16 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MEG03 カードは子ども3人から利用できるが、この時代背景からも正直ハードルが高い。せめて子供2人から利用できるものや子供1人でも特典があるものが必要 ・MEG03 カードは良い取り組みに思うが、なかなか3人目を考えられない人が多いと思う。経済的にも、ほしくても授けられない人にも、みんなが恩恵が得られるようにしてほしい ・MEG03 カードを利用できる施設と回数を増やしてほしいです

⑧学校運営について (8 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校もランドセルではなく、指定カバンになるとよいなあと思います ・学校へのお金をもう少し増やしてほしい ・小・中学校の統合を早く進めてほしい
⑨その他 (15 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・市外から引越してきたこともあり、地域にどのようなサービスがあるのか分からない ・パパママ学級と共に周囲の家族、地域にも今の子育てや出産がいかに昔と違うかを発信して頂きたいです ・補助を受けれる物事や、申請の仕方（届出方法等）や、条件等が全てまとめられたリストがあればとても有難いです ・こどものためのしせつが近くになく、車など足がないとなかなか行けない。 ・スポーツに関わる予算の減額により、市民スポーツ大会でメダルが出ない。子どもが努力する、きっかけをなくすことにつながる。

2 就学児保護者

アンケート調査票の自由記述欄において、合計 354 件の意見を寄せていただきました。内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりです。なお、意見については延べ件数でまとめています。

(1) 自由意見の内訳

分 野	件数
① 幼稚園・保育園・認定こどもについて	3
② 医療について	8
③ 医療費助成について	29
④ 施設（遊び場など）について	62
⑤ 病児保育について	11
⑥ 放課後児童クラブについて	32
⑦ 児童手当について	15
⑧ アンケートについて	9
⑨ MEG03 カードについて	34
⑩ 子育てについて	84
⑪ 学校運営について	27
⑫ その他	40
計	354

(2) 主な意見

<p>③医療費助成について (29 件)</p> <ul style="list-style-type: none">・子ども医療費がかからなくなると助かる・他市のように小学生も無料ならいいなと思いました・子供の医療費や学校給食費もう少し負担が軽くなるといい・医療費負担なしを、やめて小学生の間に拡充していただきたいです・中学卒業まで医療費の自己負担をなしにしてほしい
<p>④施設（遊び場など）について (62 件)</p> <ul style="list-style-type: none">・市内にプールがほしいです。市民プールが利用できなくなり不便になりました・大地の芸術祭の建物（森と木の実の美術館など）が子ども達が大好きでよく行くのですが料金が少し高いのが難点です。年間割もあるようですが、地元民割り引き（子どもだけでも）あるとうれしいです・公園や学校等の遊具の充実、整備をしてほしい。近くの公園は人も少なく、うす暗いので子どもだけで遊ばせるのは怖い・学校に不安がある子が日中安心して過ごせる施設があるといい・三和町（新座）に住んでいますが、自宅周辺に歩いて行ける距離に公園がありません。公園の数をもっと増やしてほしいです
<p>⑤病児保育について (11 件)</p> <ul style="list-style-type: none">・病児保育料が高いです。2人あずけると4000円はきついです・病児保育をしてくれる施設が、下条からは遠くて、預ける際も、朝晩と負担が大きいです。もう少し町中から中条、下条方面にもあってくれととても助かります・父母ともに仕事をしているため、病児保育の充実を希望します・病後児の人数（預かる制限人数）が少な過ぎて、利用できないことが多々ありました
<p>⑥放課後児童クラブについて (32 件)</p> <ul style="list-style-type: none">・今年度も学童保育に申し込みたかったのですが、既に低学年の希望者数が定員に達している為、4年生が希望を出しても通る見込みが無いと言われ、申込書を出す事すらできませんでした・祖父母がいても学童に通えるようにしてほしい・祖父母が同居しているため放課後児童クラブの利用ができず祖父母に見守りをしてもらっていましたが見守りが大変と言われ続け、今年仕事をやめました

⑦児童手当について (15 件)

- ・低所得者世帯のしほりがあると、低所得世帯ではないけど、生活に苦しい世帯は、たくさんあると思います
- ・子どもが、1人だけだと、お金の免除などサービスの恩恵を受けられず、「子育てにやさしい」とはとても思えない
- ・児童手当では18歳になった最初の3月までだと、同じ学年の子たちともらえてる額に差ができます。早生まれの子たちは受給面では何かと損な事が多いです
- ・児童手当に関して、子供が大きくなれば中学や高校で今まで以上にお金がかかるので年齢が上がると共に増やすべきだと思う。最低でも同額とし、減らす必要がない

⑧アンケートについて (9 件)

- ・あて名の子に関して書きましたが、きょうだいの下の子に関するとなると全く回答が異なります。個人的には、今後児童クラブやその他サービスを使う予定の下の子に関しての「利用希望」の意見を伝えたかったです
- ・忙しいので長ったらしいアンケートはやめてほしい
- ・本アンケートについて、回答内容が複雑すぎて大変でした
- ・アンケートをウェブ上で行えるようにすれば経費削減、返送の負担軽減につながるのではないかと思います

⑨MEG03 カードについて (34 件)

- ・メゴ3カードを1人、2人子供でも使えるようにしてほしい
- ・が家は長女(21才)長男(16才)次男(9才)と年が離れているので、MEG03カードなどの利用できる期間が短かった
- ・MEG03カード上の子が18才までじゃなく下の子が18才まで利用させてもらいたい
- ・MEG03カードなど、子供3人以上の家庭向けのサービスはあるが、1人、2人の家庭も増えているのでサービスの対象をひろげてほしい(1人目の子育てが一番大変なのに、1人目からサービスなど受けられるとありがたいです)
- ・MEG03カードは末子が高校を卒業(18歳まで)する期間まで延長してほしい

⑩子育てについて (84 件)

- ・学校で具合が悪い、どこかが痛い、微熱がある等、ほんの少しでも訴えがあれば、すぐに迎えに来るよう連絡がある。学校の立場もあるとは思いますが、こちらも遊んでいる訳ではなく、すぐにかかけつけられない時もあります
- ・3人目以降の子どもの金銭的な支援をもう少ししてほしい
- ・これから出産する方々へ今3人、4人の子育てをしている方にもう少し手厚くしてほしいと思います。今の子供は、すごいお金がかかります
- ・ひとり親家庭や高齢者への支援は多いが、共働き世帯などは、負担がなくなる。学校行事やその他で、年休や時間休をとって参加しているが、そういった事への配慮がもう少し欲しい
- ・今後物価上昇があり、仕事の給料アップもなく経済的不安が大きい。子どもを育てるなかで仕事もして、ストレスをかかえることが多い

⑪学校運営について (27 件)

- ・学校の統廃合を早く進めてほしい
- ・慣れ親しんだ地域、学校に協力してもらいながら子育てしていますが、今後、小中学校が統合してしまうことについて不安が大きいです
- ・小学校の複式学級になると先生が少なくなり、子どもたちの学習が、心配です
- ・学校の図書にもう少し予算がくるといいと思います
- ・教材費の無償化、給食費の無償化
- ・子ども達の給食代、もう少し多く払ってもいいので、いいものを使ってあげてほしいと思います
- ・現状の学校生活に保護者として全く不満はありません
- ・子供の数が少なく、学年の人数もかなり少ないので早く合併してほしいです
- ・支援学級の在籍ができなくても、基本的な学習である、国語、算数の対応だけでも、してほしいです

⑫その他 (40 件)

- ・子育てよりも子供が生まれる社会になるような政策をして下さい。婚姻数が増えなければ子供は増えません
- ・不登校(あるいは不登校気味)の子どもに対してのサポートが少ないように感じている。学校以外の居場所、やりがいなどを年齢に合わせて提供してほしい
- ・若い人が十日町に住みたい、戻ってきたくなる町づくりをお願いしたいです
- ・フリースクール等、学校に行けない子どもへの支援が、もっと充実していると安心です
- ・習い事をさせたいが送り迎えが出来ない。バス路線が縮小(廃止)しているので高校の通学が厳しいと思われる。スクールバス(朝、夕)を出してほしいです
- ・子ども、中高年、高齢者が関わり合えるような行事が増えていくと良いです
- ・十分な補助を出してもらっているので、これからも維持してください
- ・少子化が大変深刻化していますが、物価高もあり将来子供達の生活がどうなっていくのか不安です

3 子ども（学生・社会人）

アンケート調査票の自由記述欄において、合計 354 件の意見を寄せていただきました。内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりです。なお、意見については延べ件数でまとめています。

(1) 自由意見の内訳

分 野	件数
① 施設（遊び場など）について	26
② イベントの開催について	2
③ 設備・インフラについて	21
④ 学校のことについて	8
⑤ その他	15
計	72

(2) 主な意見

①施設（遊び場など）について（26件）	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な物、服等の購入を気軽にできるお店がない（若者向けの服がない） ・スポーツが出来る場所を新しく建てて欲しい ・ショッピングセンターが少なく放課後や休日に友達と遊ぶ場所が限られるので、地域活性化のためにも飲食店や雑貨店などを増やしてほしい ・サンスポの野球の使用料を高校生でも安くしてください。先生が困っています ・友達と集まれる広いカフェのような空間、映画館などあるとよい ・動物とふれあえる、いやしとなる場所がほしい。猫カフェとか ・気軽に遊べる運動場がほしい ・スケボーが出来る所をもう少しきれいにしてほしい
③設備・インフラについて（21件）	<ul style="list-style-type: none"> ・津南中等教育学校に通っているのですが、朝・夕方のバスを増やして下さい。 ・換気が悪く、壁にカビが生えていて、見るだけで具合が悪くなる ・バスの数を増やしてほしいです ・学校の窓に網戸をつけてほしいです ・夜でもくらい所があるので電灯をもう少し設置して欲しいです

<p>④学校のことについて (8件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合高校、きびしすぎて苦痛だった ・学校の先生が服そうの事に関してきびしすぎるある程度は見守ってほしい ・私はにぎやかな場所が苦手な教室にいるとつらく感じる事がよくあるのでそうゆう時にいられる場所を学校の中で作ってほしいです。私は集団で勉強してもあまり勉強が分からないので先生に個別で教えてもらう時間がほしいです ・学校の制服は心の性別関係なく選べるように働きかけてほしいです ・地域で学校をえらぶのではなく、その人にあった学校があると良いと思う学校数ではなく、多様化に対応出来る学校がほしい ・校則が改善した方がよいところがある。男女で髪型や服装を分けているところなど
<p>⑤その他 (15件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号のない横断歩道をスムーズに渡れるように車の一時停止を徹底してほしいです ・十日町市の魅力をもっと発進してほしい ・若者が残りやすい十日町市を作ってください

子ども・子育て支援に係るアンケート調査
【就学前児童保護者用】

【調査ご協力をお願い】

日ごろから、当市の児童福祉行政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当市は、標題のアンケート調査を、12歳以下の子どもを持つ全世帯を対象に行わせていただきます。

これは、当市が「第3期子ども・子育て支援事業計画(R7-R11)」を策定するためのもので、子育てに関わる市民のご意向等をあらかじめ把握することを目的としております。

ご回答いただいた内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ利用するものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。また、ご回答の集計結果は、市報とホームページにより概要を公開する予定であります。

当市の子育て支援策の一層の推進に向けた重要な調査ですので、ご多用のこととは存じますが、ご記入にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年11月

十日町市長 関口芳史

【ご記入にあたってのお願い】

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんの子育てに関して、回答日現在の内容でご記入ください。
2. 調査票は、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。なお、数字は□欄に右づめでご記入ください。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご記入が済みしましたら、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて12月8日（金）までにご投函ください。
8. お問い合わせは、以下までお願いいたします。

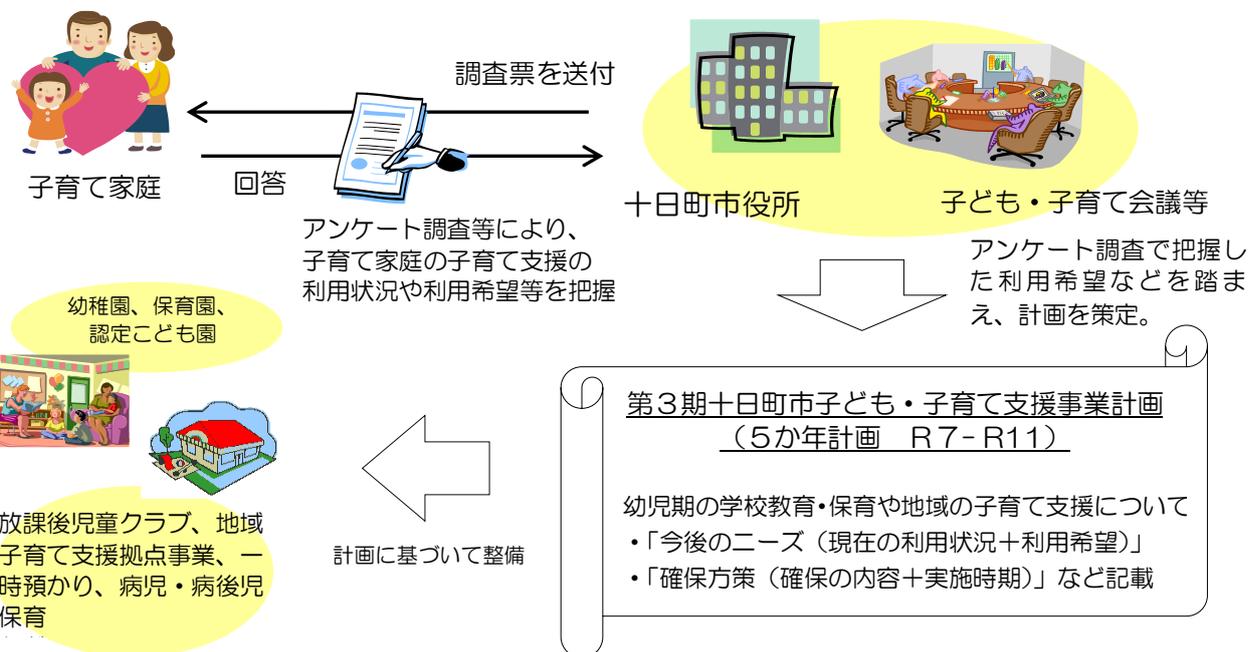
十日町市役所 子育て支援課 子育て支援係 TEL 025-757-3719

回答にあたってお読みください

十日町市では、国の「子ども・子育て支援制度」のもと、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を策定し、その後、計画的に事業等を推進していく予定であります。

この調査は、策定する計画をより的確な内容とするため、子育てに携わる市民の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握することを目的に行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来、利用希望を変更していただいても構いません。



（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおり。

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設を指します。
- ・保育園：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設を指します。
- ・認定こども園：幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設を指します。
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援のことです。
- ・教育：問13までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問14以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

●問6-1 あなたの世帯（家計を一緒にしているご家族）の昨年1年間の所得の合計はいくらですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1	～1,000,000 円	2	1,000,001 円～2,000,000 円
3	2,000,001 円～3,000,000 円	4	3,000,001 円～4,000,000 円
5	4,000,001 円～5,000,000 円	6	5,000,001 円～6,000,000 円
7	6,000,001 円～7,000,000 円	8	7,000,001 円～8,000,000 円
9	8,000,001 円～9,000,000 円	10	9,000,001 円～10,000,000 円
11	10,000,001 円～		

また、家計を一緒にしているご家族は何人ですか？（_____人）

※世帯全体の年間の所得の合計は給与や事業の売上、年金や各種の給付・手当などの収入の総計から、税金や社会保険料などを除いた、**年間の金額**としてお答えください。

※1年分の所得金額がわからないときは、1か月分の手取り収入を12倍するなどして、1年分の金額を計算してお答えください。

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

- 問7 あて名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|--------|---------|-------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 |
| 5. 認定こども園 | 6. 保育園 | 7. その他（ | ） |

- 問8 あて名のお子さんの子育てに、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|-------|-----------|--------|
| 1. 家族 | 2. 地域 | 3. 認定こども園 | 4. 保育園 |
| 5. その他（ | ） | | |

- 問9 日ごろ、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

- 問10 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. いる／ある ⇒問10-1へ | 2. いない／ない ⇒問11へ |
|------------------|-----------------|

問10で「1. いる／ある」に○をつけた方うかがいます。

- 問10-1 あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（子育て支援センターなど） |
| 5. 認定こども園の先生 | 6. 保育園の先生 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. かかりつけの医師 |
| 9. 市役所の保健師・子育て担当 | |
| 10. その他（ | ） |

あて名のお子さんの保護者の働き方についてうかがいます。

●問 11 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 当てはまる番号1つに○をつけてください。【父子家庭の場合は記入不要です。⇒(2)へ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働いており、 産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問 14 へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働いているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の働き方）で働いており、 産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問 12 へ
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の働き方）で働いているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は働いていたが、現在は働いていない	} ⇒ 問 13 へ
6. これまで働いたことがない	

(2) 父親 当てはまる番号1つに○をつけてください。【母子家庭の場合は記入不要です。⇒問 12 もしくは問 13 へ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働いており、 育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問 14 へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働いているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の働き方）で働いており、 育休・介護休業中ではない	} ⇒ 問 12 へ
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の働き方）で働いているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は働いていたが、現在は働いていない	} ⇒ 問 13 へ
6. これまで働いたことがない	

●問 12 問 11の(1)または(2)で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で働いている）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 13 もしくは問 14 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入不要です。⇒(2)へ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働きたいと思っており、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働きたいと思っているが、実現できる見込みはない
3. 今後もパート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働くことを希望している
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親【母子家庭の場合は記入不要です。⇒問 13 もしくは問 14へ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働きたいと思っており、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働きたいと思っているが、実現できる見込みはない
3. 今後もパート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で働くことを希望している
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

●問 13 問 11の(1)または(2)で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14へお進みください。働きたいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一枠に一字。）

(1) 母親【父子家庭の場合は記入不要です。⇒(2)へ】

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに働きたい
3. すぐにも、または1年以内に働きたい
※ 下記の当てはまる記号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。
（数字は一枠に一字。）
→希望する働き方

{	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）	}
	イ. パート・アルバイト等（「ア」以外） →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	
4. その他（ ）

(2) 父親【母子家庭の場合は記入不要です。⇒問 14へ】

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに働きたい
3. すぐにも、または1年以内に働きたい
※ 下記の当てはまる記号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。
（数字は一枠に一字。）
→希望する働き方

{	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）	}
	イ. パート・アルバイト等（「ア」以外） →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	
4. その他（ ）

あて名のお子さんの平日の定期的な保育・教育サービス
(保育園・幼稚園)の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な保育・教育のサービス」とは、月単位で定期的に利用しているものを指します。
具体的には、保育園など、問14-1に示したサービスが含まれます。

●問14 あて名のお子さんは、現在、保育園などの「定期的な保育・教育のサービス」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問14-1へ 2. 利用していない ⇒ 問15へ

●問14-1 問14-1～問14-2は、問14で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんは、平日どのような保育・教育のサービスを利用されていますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. 認可保育所（公立や私立の保育園）
（国が定める設置基準に適合した施設で
都道府県等の認可を受けたもの）
（施設名⇒ ） | 2. 認定こども園（幼稚園の機能）の1号認定
（3歳以上）
（施設名⇒ ） |
| 3. 認定こども園（保育園の機能）の2号
（3歳以上）又は3号（3歳未満）認定
（施設名⇒ ） | 4. 小規模保育施設
（しらうめ保育園） |
| 5. 認可外の保育施設
（水沢南部保育園） | 6. ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業） |
| 7. その他
（具体的に⇒ ） | |

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業（「子育て支援センター」）の利用状況についてうかがいます。

- 問 16 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」と呼ばれ、市内に5施設あります。）を利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。利用している場合は、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。あわせて、利用している地域すべてに○をつけてください。（口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。）

1. 利用している	
1週当たり <input type="text"/> 回	または 1ヶ月当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
（ 十日町 川西 中里 松代 松之山 市外 ）	
2. 利用していない	3. 利用していたことがある

- 問 17 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。利用したい、増やしたい場合は、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。）

1. 利用していないが今後利用したい	
1週当たり <input type="text"/> 回	または 1ヶ月当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	
1週当たり 更に <input type="text"/> 回	または 1ヶ月当たり 更に <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
3. 新たに利用したい、利用日数を増やしたいとは思わない	

- 問 18 下記の事業や活動で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①公民館等での親子レクリエーション （すこやかランド、なかよしランド、いっしょにあそぼ、すくすく教室など）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②読み聞かせ（情報館や分室などで開催）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③子育てサークルによる演劇鑑賞やサロン など（市民有志が演劇や料理教室など実施）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ファミリー・サポート・センター （サポーターによる子どもの一時預かりなど）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤主任児童委員（市内に13名配置。 育児相談などに応じてくれる）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥市発行の「子育て支援ガイドブック」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦子育てに関する市への相談（乳幼児健診時 や子育て拠点で実施）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

⑧病児・病後児保育（病気になったお子さんを仕事等の保護者にかわってみてくれるサービス）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨MEGO ³ （めぐさん）カード（地域子育て応援カード事業）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩十日町市児童センターめぐらんど 子どもたちが冬や雨の日でも思いきり遊べる施設、家族で遊べる野外の芝生広場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

**あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な
保育・教育サービスの利用希望についてうかがいます。**

- 問19 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な保育・教育のサービスの利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます。）当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字。）なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} →	利用したい時間帯 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> 時から <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> 時まで </div>
---	-----	---

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} →	利用したい時間帯 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> 時から <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> 時まで </div>
---	-----	---

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の保育・教育を利用する方のみ)

問14で「1.」(「定期的な保育・教育のサービス」を利用している)に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 利用していない方は問21へ

- 問20 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している保育・教育のサービスが利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問20-1へ

2. なかった ⇒ 問21へ

- 問20-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している保育・教育のサービスが利用できなかった場合に行った対処方法として、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの大まかな日数も□内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。)

1年間の対処方法	1年間の日数
1. 父親が休んで子どもを見た	□□ 日
2. 母親が休んで子どもを見た	□□ 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	□□ 日
4. 父親または母親のうち働いていない方が子どもを見た	□□ 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
6. ベビーシッターを利用した	□□ 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
9. その他 ()	□□ 日

問20-1で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

- 問20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字。)なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□ 日 ⇒ 問20-3へ

2. 利用したいとは思わない

⇒ 問21へ

●問20-3 問20-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ） |

**あて名のお子さんの不定期の保育・教育サービスや宿泊を
伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます**

●問21 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等で不定期に利用しているサービスはありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字。）
※泊まりがけで利用する場合を除きます。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （一時的に家庭での保育が困難となる 子どもを保育園などで保育する事業）	□□□ 日
2. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	□□□ 日
3. ベビーシッター	□□□ 日
4. その他（ ）	□□□ 日
5. 利用していない	

●問22 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）なお、事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	合計	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	計	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	計	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
ウ. 勤務日が一定でない仕事	計	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
エ. その他（ <input type="text"/> ）	計	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2. 利用する必要はない					

●問23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければいけないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）当てはまる番号1つに○をつけてください。また、あった場合は、この1年間の対処法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字。）

	1年間の対処法	日数
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活支援事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせていた	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	カ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった		

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

- 問24 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字。）

※「放課後児童クラブ」…地域によっては学童保育と呼ばれています。保護者が就労等により昼間留守家庭になる子どもに生活の場を提供するものです。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	➡	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	➡	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	➡	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	➡	週 <input type="text"/> 日くらい ⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
5. ファミリー・サポート・センター	➡	週 <input type="text"/> 日くらい
6. その他（公民館、公園など）	➡	週 <input type="text"/> 日くらい

●問 25 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。

また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字。）

※将来のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	➡	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	➡	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	➡	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	➡	週 <input type="text"/> 日くらい ⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
5. ファミリー・サポート・センター	➡	週 <input type="text"/> 日くらい
6. その他（公民館、公園など）	➡	週 <input type="text"/> 日くらい

少子化に対する意見、ご家庭での生活についてうかがいます。

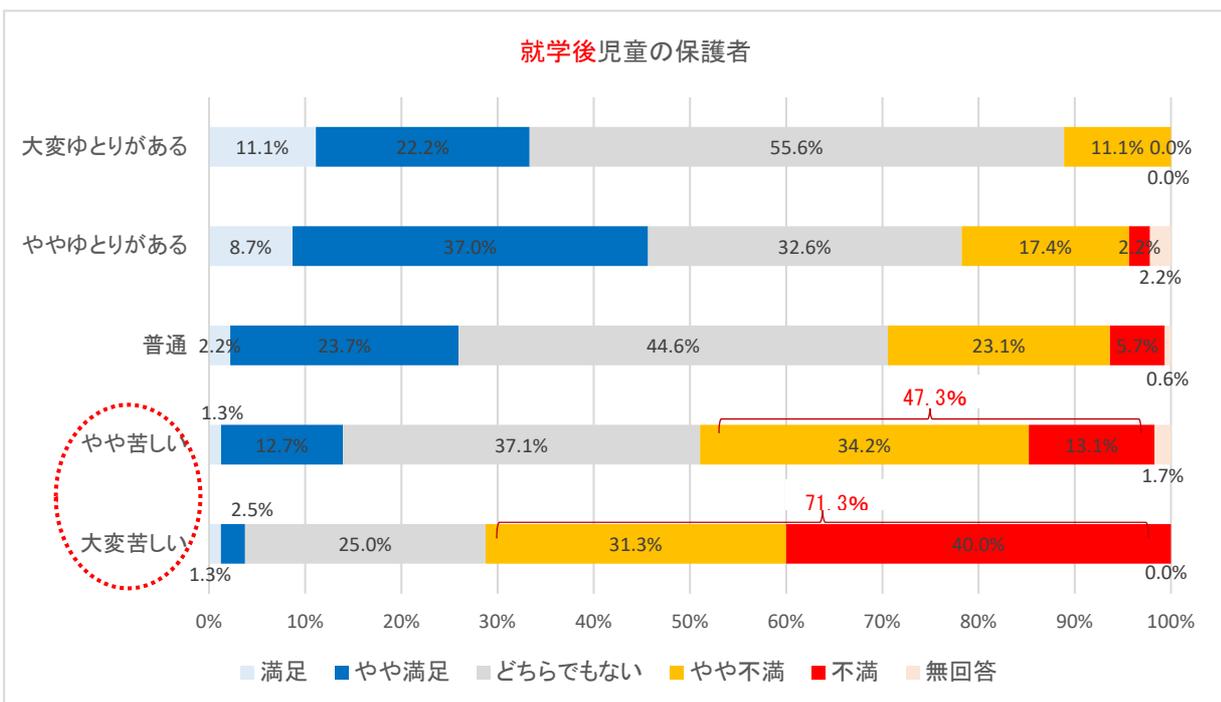
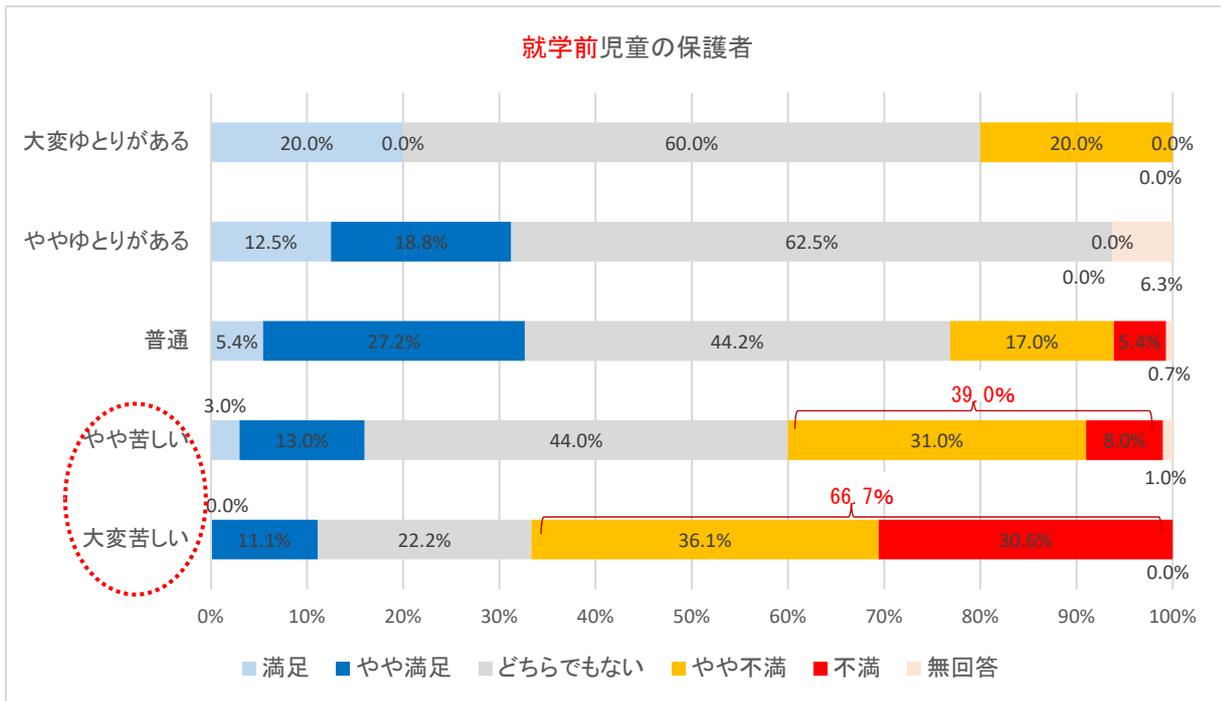
●問26 少子化が深刻化する状況で、あなたが子育てをする中で、良い面、悪い面をどのように感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけください。

1. きめ細かな教育（保育）を受けられる
2. 子ども一人一人が社会から大切に扱われる
3. （多子時代よりも）子育ての経済的負担が軽減されている
4. 将来に向けて、子どもたちの責任が大きくなる
5. 子どもの競争心の低下が心配される
6. 子どもの社会性（集団行動等）の低下が心配される
7. 友だちの数が少なくなることが心配される
8. 多様な人間関係が作られなくなることが心配される
9. その他（ ）

【参考】

子育て世帯の暮らしぶりや満足度の相関性について

- 今回の市民アンケートでは、前回の結果よりも満足度が低下（就学前△3.6p、就学後△0.6p）し、あわせて不満度が増加（就学前+2.0p、就学後+6.4p）する結果となった。（P29）
- その要因の一つは令和2年2月からのコロナ禍と推察するが、自由記載の意見中に暮らしのゆとりに関するものが散見されたため、今回新たに設問設定した「現在の暮らしの状況」(P22)とのクロス集計を行った（下記グラフ参照）。その結果、次の①と②がうかがえる。
 - ① 就学前と就学後にかかわらず、暮らしぶりが「やや苦しい」「大変苦しい」を選んだ保護者は満足度が低い傾向にある。
 - ② 同様に、「やや苦しい」「大変苦しい」を選んだ保護者はとりわけ不満度が高い傾向にあり、このような層の思いが、今回の満足度の結果に作用したと推測する。



十日町市こども計画（子ども・子育て支援事業計画）の策定方針について

1 経緯等

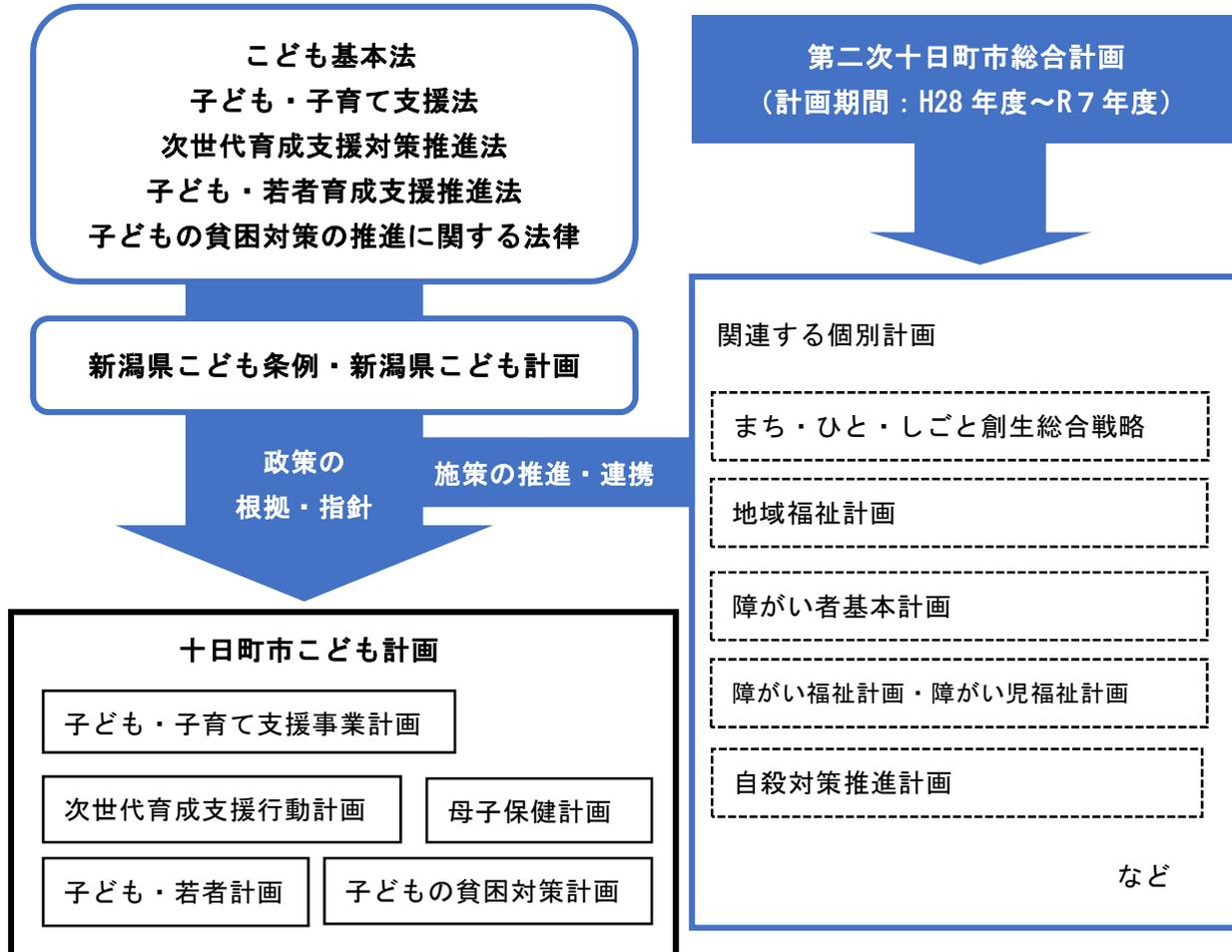
当市の子育て支援の総合的な計画の第2期「子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度末に終期を迎えることから、この6年度中に、国や県の基本方針等に沿いつつ当市の課題や市民アンケート（R5実施）の結果などを踏まえながら、第3期の計画（期間R7年度～11年度）を策定する。

なお、令和5年4月に施行された「こども基本法」が子育て分野の現在の最上位法となっており、その法の規定を受けた国の「こども大綱」（R5/12月制定）や新潟県「こども条例」（R6/4月施行）が分かりやすい名称としているうえ、全国の自治体でも同様の名づけが潮流となってきたことから、当市も「こども計画」を次期の計画名としたい。

2 計画の内容

上記1の後段に記述のとおり、次期の計画名は「十日町市こども計画」を予定するが、その内容としては第3期に当たる「子ども・子育て支援事業計画」※であると同時に、前期計画と同様に「次世代育成行動計画」と「母子保健計画」を兼ねたものとする。※市町村に策定義務あり

あわせて、前出の国「こども大綱」に沿うことにより、新たに「子ども・若者計画」と「子どもの貧困対策計画」の要素を取り込んだものとする。



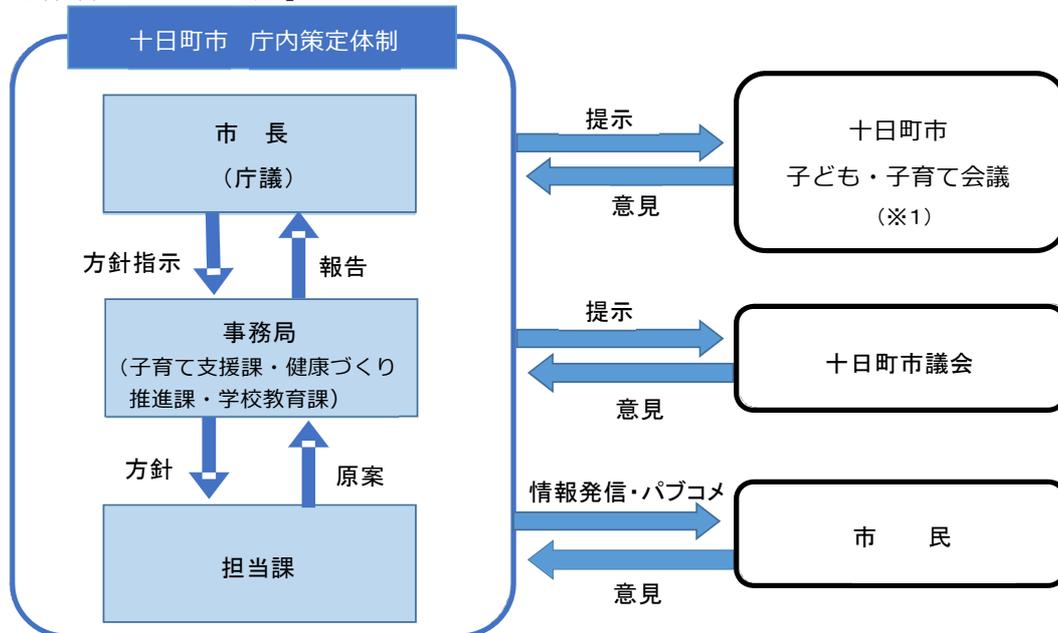
3 計画期間

令和7年度から令和11年度までの5年間

4 策定体制

子育て支援課を事務局の中心として、担当課の取組等を取りまとめ、十日町市子ども・子育て会議やパブリックコメントなどの外部意見を反映し策定する。

【策定体制のイメージ図】



※1 子どもの保護者、子ども・子育て支援に関する事業に従事する者、子ども・子育て支援の関係団体から推薦を受けた者、学識経験者など12人で構成する。

5 策定の方針

国の子ども大綱、新潟県子ども条例及び子ども計画、市民アンケートの結果を踏まえ、現行の施策や具体的な取組を点検等しながら今年度中に策定する。

6 今後のスケジュール

期日	内容等
7月	◆第1回子ども・子育て会議 ・現計画の進捗状況及び点検・評価報告 ・十日町市子ども計画の策定方針説明
10月	計画案策定・三役協議・庁議
11月	◆第2回子ども・子育て会議 ・計画案説明 ・計画案に対する意見提出依頼 ■市議会（厚生常任委員会） ・計画案説明
12月	パブリックコメント 意見等（委員、パブコメ、市議会）に対する修正確認
1月中旬	計画最終確認・三役協議・庁議
2月	■市議会（厚生常任委員会） ・確定版計画説明
3月	◆第3回子ども・子育て会議 ・確定版計画説明

国子ども大綱（令和5年12月22日制定）

【大綱の目的】「**子どもまんなか社会**」の実現を目指す。子どもまんなか社会とは、全ての子ども・若者が**身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会**をいう。

【大綱の要点】

1 基本的な方針

① **子ども・若者の最善の利益**

⇒ 子ども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、子ども・若者の今とこれからの最善の利益を図る。

② **意見の傾聴と対話**

⇒ 子どもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく。

③ **成長過程での切れ目ない対応、十分な支援**

⇒ 子どもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する。

④ **子ども・若者の幸福な成長**

⇒ 良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全ての子ども・若者が幸せな状態で成長できるようにする。

⑤ **生活基盤の安定、希望の形成と実現**

⇒ 若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路の打破に取り組む。

⑥ **関係者による連携**

⇒ 施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を重視する。

2 その他の要点

① 少子化社会対策と子どもの貧困対策を包含するほか、「若者」の育成にも軸足を置く内容。

② 上記1の方針に基づき、「重点事項」※1と「必要事項」※2を整理。

※1：切れ目ない保健・医療の提供、医療的ケア児の支援、ヤングケアラー支援、など

※2：地方公共団体等における取組促進、多様な声を施策に反映させる工夫、数値目標と指標の設定、など

新潟県子ども条例（令和6年4月1日施行）

【条例の目的】（第1条）

子ども施策の基本理念を定め、県の責務等を明らかにするとともに施策の基本的事項を定め、施策を総合的・計画的に推進し、**子どもが心身ともに健やかに成長することができる社会の実現**に資することを目的とする。

【条例の要点】（第3条）

1 基本理念

① **子どもの権利の尊重と擁護**

⇒ 全ての子どもについて、個人として尊重され、基本的人権が尊重され、差別的取扱いを受けることがないようにするなど、子どもの権利を尊重し、擁護する。

② **福祉の保障、教育の機会付与**

⇒ 全ての子どもについて、適切に養育され、生活を保障されるなど、福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育を受ける機会が等しく与えられる。

③ **子どもの意見表明・社会参画の機会確保**

⇒ 全ての子どもについて、年齢や発達に応じて、自己に直接関係する事項について、子どもの意見の表明や社会的活動に参画する機会を確保する。

④ **子どもの意見尊重と最善の利益**

⇒ 全ての子どもについて、年齢や発達に応じて、その意見を尊重し、その最善の利益を優先して考慮する。

⑤ **健やかな成長のため社会全体で子どもを支える**

⇒ 誰もが安心して子どもを生み、子育てに喜びを感じ、子どもが健やかに成長できるよう、社会全体で子どもを支える取組を推進する。

2 その他の要点

① 県や保護者など、関係者の責務・役割の明確化（第4条～第10条）

② 子ども視点に立った情報の提供、施策推進のための財政措置などを規定（第11条～第14条）

③ 子どもの権利の尊重・養護などの基本的施策※を個別に規定（第15条～第21条）

※社会全体で支える取組の推進、家庭や地域で子どもを支える環境づくり、など

市民アンケートの主な結果（令和6年3月取りまとめ）

【保護者アンケート】

①子育ての主体の変化

⇒ 就学前児の子育ての主体は、「父母ともに」が61.9%と、前回調査から9.2ポイント増加し、「主に母親」が34.9%と同様に6.5ポイント減少した。小学生についても「父母ともに」が63.8%と前回調査から8.4ポイント増加し、「主に母親」は31.4%と同様に7.0ポイント減少した。

②家庭と学校の役割

⇒ 子育てに影響すると思う環境は、「家族」が最も多く（就学前児98.7%、小学生97.4%）、次いで「学校」が96.4%（小学生）とほぼ横に並んだ。

③子育てサポートの不在

⇒ 子どもをみてもらえる親族等の状況は、「日常的」「緊急時」にみてもらえる割合が50%前後であった一方で、「いずれもない」が就学前児7.2% 小学生9.8%であった。また、相談相手の有無についてたずねたところ、「いない」との回答が就学前児2.3%、小学生9.5%であった。

④休日保育のニーズ

⇒ 休日の保育サービスの利用度は、前回調査から減少傾向にあるものの、土曜が「ほぼ毎週」「月に1～2回は」が合わせて36.6%、日曜祝日は同21.6%であった。

⑤子育て支援センターの利用増

⇒ センターの利用状況は、前回調査の就学前児全体「利用している」が25.3%だったものが、今回・同40.6%と15.3ポイント増加している。

⑥放課後児童クラブの利用希望増

⇒ クラブの利用希望は、小学校低学年時が前回調査の54.3%から今回63.7%と9.4ポイント増加し、小学校高学年時は前回の32.0%から今回42.2%と10.2ポイント増加している。

⑦子育て支援サービスの利用の変化

⇒ 読み聞かせなどの支援サービスの利用状況は、就学前児・小学生で前回調査からおおむね減少傾向にある一方で、児童センターめごろんどの利用度が突出している。なお、子育てガイドブックの利用が増えたほか、病児病後児保育やファミリーサポートセンターなどは今後の期待値がやや高い傾向にある。

⑧少子化について

⇒ 少子化に関する意見を保護者に聞いたところ、就学前児・小学生ともに「将来子どもたちの責任が大きくなる」が64.3%・55.6%と最も多く、次いで就学前児「多様な人間関係の構築ができないことが心配」34.7%、小学生「社会性の低下が心配」45.3%と続いた。

⑨暮らしの経済的状況

⇒ 現在の暮らしの状況は、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせると、就学前児44.7%、小学生で46.0%とともに4割を超えた。

【子どもアンケート】

⑩不安や悩み

⇒ 子ども（中学生・高校生の世代、以下同じ）に不安や悩みをたずねたところ、「成績・受験・勉強」が55.5%と最も多く、次いで「将来・進路」49.3%と続いた。

⑪学校・仕事について

⇒ 学校や仕事は楽しいか聞いたところ、「とても楽しい」と「楽しい」を合わせて82.9%に達する一方、「あまり楽しくない」が13.8%となった。

⑫地域活動等への参加度

⇒ 地域活動やボランティア活動への参加をたずねたところ、「最近一年間で参加」「以前参加した」を合わせて59.5%となったものの、「参加したことがない」が40.4%あった。

⑬夢・目標

⇒ 夢や目標をもっているか聞いたところ、「持っている」「どちらかというを持っている」を合わせると66.7%となる一方、「どちらかというを持っていない」「持ってない」「わからない」が33.3%となった。

【保護者アンケート】

⑭子育ての満足度

⇒ 保護者の子育ての環境と支援の満足度は、就学前児で「満足」「やや満足」を合わせて24.6%と、前回調査の28.2%から3.6ポイント減少した。また、小学生は「満足」「やや満足」を合わせて20.9%と、前回調査の21.5%から0.6ポイント減少した。

国の大綱・県条例・アンケート結果に整合

市こども計画のポイント

I 大綱や県条例との整合から重視すべき事項

1. こどもの権利・利益、2. こどもの意見と社会参加、3. こどもの福祉・教育の充実、4. こども・若者の健全な成長、5. 地域全体での子育ての支え、など

II 市民アンケート結果から取り込む事項 ※カッコ内は上記Iの各事項との関連

①子育ての参画の支援 (3,4)、②家庭と学校の連携 (3,4)、③子育てサポートの確保と充実 (5)、④土曜保育の充実、日曜祝日の保育の確保 (3)、⑤子育て支援センターの機能の向上 (3)

⑥放課後児童クラブの充実 (3)、⑦病児病後児保育やファミリーサポートセンター等の充実 (3,5)、⑧少子化時代を見据えた地域全体の支え (1,3,5)、⑨子育て家庭へのトータル的な支援など (1,3,4,5)

⑩家庭と学校によるこどもへの寄り添い (1,3,4)、⑪学校生活等の更なる充実 (1,3)、⑫こども・若者の社会参加の支援 (1,2,5)、⑬家庭での子育ての充実 (1~5)

⑭市こども計画の策定とその実行 (1~5)、など

令和 6 年 7 月 23 日
十日町市子育て支援課

十日町市こども計画構成（案）

- 第 1 章 計画の策定にあたり
 - ・計画策定の背景と趣旨
 - ・計画の位置づけ など

- 第 2 章 十日町市の子ども・子育てを取り巻く現状
 - ・統計データからみる十日町市の状況
 - ・アンケート調査の結果
 - ・課題と方向性 など

- 第 3 章 計画の基本的な考え方
 - ・基本理念
 - ・基本目標
 - ・施策の体系

- 第 4 章 こども・子育て支援事業計画に関する事項 <必須>
 - ・教育・保育の量の見込みと確保方策
 - ・地域子ども・子育て支援事業の見込みと確保方策
 - ・保育園・認定こども園等と小学校等の連携とその推進方策
 - ・産後の休業・育児休業等の円滑な利用の確保 など

- 第 5 章 こども・若者、貧困対策に関する事項

- 第 6 章 こども・子育て支援、若者支援、貧困対策の展開
 - ・施策の体系
 - ・重点的な取組
 - ・事業の展開

- 第 7 章 計画の達成に向けて
 - ・計画の推進体制
 - ・計画の進行管理